

五稜

昭和50年度 // 第15号 // 函館市立五稜中学校





誠實 協調 真理 探求

北海學堂書局



目次

校長のことば	1
生徒会長のことば	2
生徒会役員の任期をおえて	3
新役員の抱負	5
専門委員会をふりかえる	6
クラブ活動	9
学級プロフィール	16
文苑	26
修学旅行の思い出	38
はなむけのことば	42
卒業学級プロフィール	46
学校日誌から	57
授賞一覧	58
職員住所録	59
編集後記	60



みんな一生懸命見えています



お水っておいしいのかな？



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



実験成功したかな？



お母さん つまみぐいしないでね



いってきます



かもめさんはどこへ行ったの



長生きのお茶



あこがれの中尊寺

修

学

旅

行

校内球技大会



ボールが飛んでいる



上手にレシーブして



笛まで食べないで



指揮者を注目!!

文



現代の笛吹童子?

化



4人の小無僧たち

祭

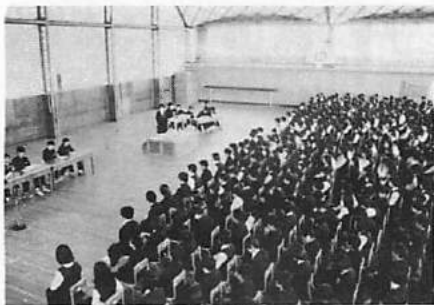


おいしいのかなあー?

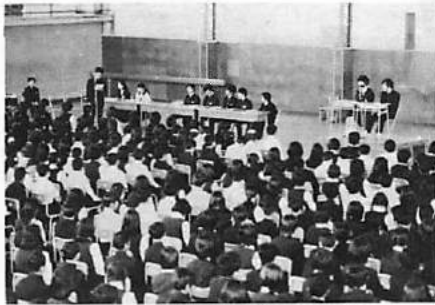


生徒の作品? じょうずネ

生徒総会



みんな…どこ見てるの？



みんなまじめに聞いてます



自転車もじょうずに乗ります

交通安全

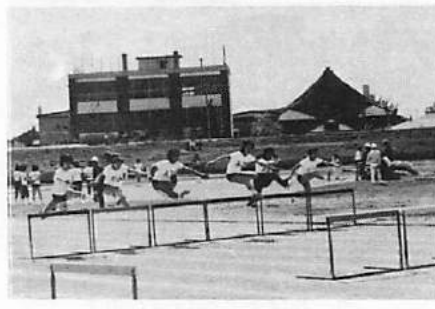


手をあげて横断歩道を渡ろう



カッコイーイ

体育



おしりが少し重いようです？



短かい足をのびしてカンハロウノ

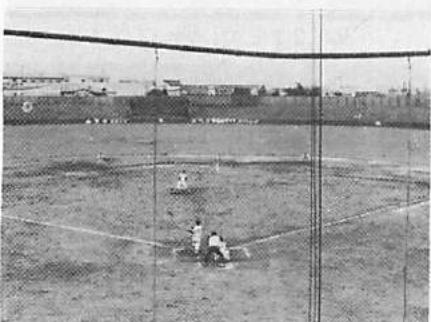
大会



美男子コンクール



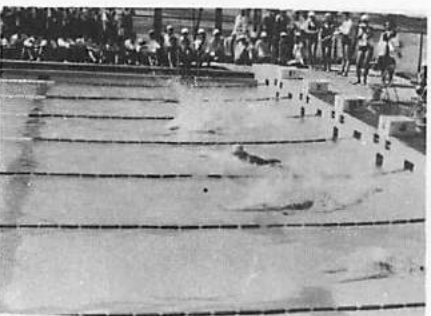
ジャンプはどっちが勝ったのかな？



カーン～ホームラン？



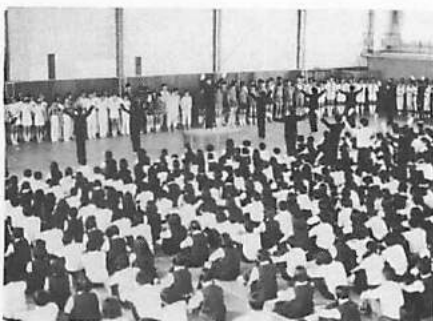
ボールはどこへいったの？



うまい飛び込みだなあ！

中
体
連
八
種
は
じ
ま
る

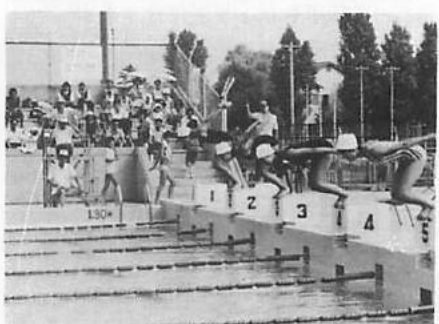
校
内
水
泳
大
会



ソーレノソーレノ



あ・ケッタ・ケリマシタ



およげカッパたち



カッパちゃんもマケソーウ！

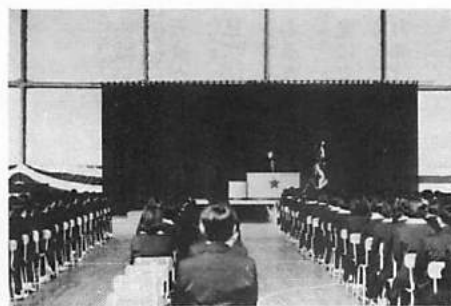
50年度 思い出のスナップ



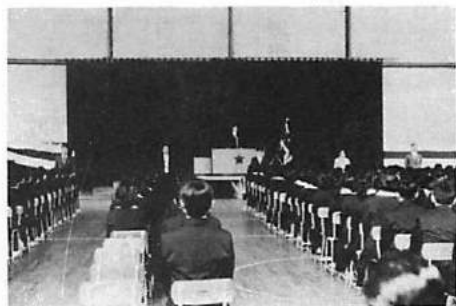
あ〜あこがれの五稜中学校



先生…コンニチワ!



われらの会長がガンバッテいます!



担任と新生徒の対面



ヨロシクおねがいます



苦しみの始まり



みんな…まじめな顔だね



先生のためご

校 歌

一、ひんがしに
古城こじょういだきて

たたなわる
五稜ごりょうが丘おか

若人わこうどの
息吹いぶきに満みちぬ

水上みなみに
ふるきをたすね

新あたしき
光ひかりに立ちて

大おおいなる
力ちから伸のばさん

二 さくら花ばな
しるしと仰おほぎ

友ともがきの
堅かたく結むすびて

うち鳴ならす
自主じしゆの鐘かねの音

ひとすじに
まことを弱きわめ

築きずきゆく
理り想そうのすがた

ああ とわに
われら栄はえあれ



生 き る

学 校 長 金 沢 浩

みどり学園は、病気の治療を受けながら学習を続けている本校生徒の学級で、五稜郭病院の中にあります。病気によっては一年も二年も、またそれ以上も入院している子がいます。S君も腎臓病で入院してから数年を経っていました。四十九年度は三年生でしたが、五十年度も三年生でした。腎臓は、血液中の老廃物を体外に排出する大切な働きをする臓器です。その機能が悪くなると、血液は濁り、身体各部の働きも弱って、生命にかかわる状態になります。それでS君は、一週間に二回人工腎臓の働きによって血液を浄化する「透析」という治療を受けていました。

そんな苦しい病気の中でも、勉強したいという気持ちをしわなかつたS君なのですが、もうひとつの苦難を彼は背負っていました。病状が悪くなるにつれ、視力がなくなつてきたことです。目が見えなくなつたため、彼は点字の勉強をしようと決心しました。幸い、盲学校の酒井先生の暖かい励ましとご好意で、一昨年の一学期末から毎週水曜日、一時間から二時間真剣に点字の学習に取り組んできました。「点字を覚えたら、目が見えなくても本が読める。」S君の心は、希望で明るかつたことでしょう。

しかし、非情にも運命はS君のこのたつたひとつの希望ばかりか、その生命さえも奪つてしまいました。昨年十一月十一日、S君は短い生涯を終えたのです。でも、彼の生きた時間は短くても、その病気との闘いと点字を学ぶ努力を最後まで続けた気力は、彼の一生を充実したものにしたと思うのです。

また、関連して思い出すのは八雲養護学校の生徒たちです。進行性筋ジストロフィー症の小中学生が入院して学習に励んでいます。筋肉がみるみる委縮して、二十才まで生きられるかどうかという恐しい病気なのです。しかし、みんな学習に熱心なことは驚くばかりです。習字も絵も立派です。そして、作文には特に心を打たれたことがあります。それは、友だち同志の思いやりの深いこと、先生や看護婦さんや給食のおばさんなど、お世話をしてくれる人々に対する感謝の心の純粹なことでした。また、健康を心の底から願ひながらとてもかなわぬことという悲しい心情のにじみ出ているのもありました。この子たちのからだは病気でも、心はなんと健康で美しいことかと感じ入つたものでした。

こういう仲間がいることを諸君に考えてはしかつたのです。健康な人間がそのありがたさに気づかず、わが人生にはあり余る時間がある、と勉強は怠け、判断を誤つて悪いことをしたり、利己的でわがまま勝手な行動をしたり、ごう慢不そんで思いやりの心も、感謝の気持ちも、奉仕の念もないような人だつたら、それは心が曇り病んでいる人だと言えるかもしれません。人間らしい豊かな心で生きることが、点数以上に大切だと思ふのです。

生徒会

1975—1976



生徒会々長 石後岡 正弘

「生徒会」なんのためにあるのだろう。生徒の自主的な運営と全員が協力し合うのを願ってからか。それなら、生徒会役員だけが、一生懸命努力しても、みんなが、なんら関心をもたないのならどうしようもない。それだけで終わってしまったのでは、前項の目的はいつまでも達成できない。これは少しずつでも、みんなが生徒会に興味をもって積極的に活動に参加して自分の意見なり、感じたことを、みんなに発表し、一緒に解決していくことだと思う。委員会活動をはじめ学級活動をより活発にし、役員とみんなの協和による成果がそれである。しかし、文章に書くのなら、簡単であるが、実際に実行するとなるとそう簡単で、しかも短期間で効果がでることは難しい。一つ一つの積み重ねによって、一つ一つ成果が表われてくると思う。

ここで今年度の生徒会活動をふり返って考えてみると。

たいした進歩はなかったけれど、各学級の代表者で構成されている代議員会が、各専門委員会の委員長と生徒会役員全員が出席してよりみんなの意見が反映され、活発な活動ができるようになったこと。それに、少しだけみんなの関心が深まったことです。

たとえば、文化祭のときは、生徒自身で計画を立て、みんなの協力があつたのでできたと思う。みんなが、一致団結して「やってやろう」という心構えが見えたなら、どんなことでも打ち勝つて実現できる。来年度の文化祭は、どうなるか知らないが、きつとより前進したものになっているだろうと思う。

多数の力、団結力というものは恐しいなあと思います。憲法の前文にもあるように自己に専念して他人はどうかあれ関係がないという考えをもつのは、当然言うまでもなくいけないことであろう。

そこで在校生の諸君、五稜中学校の名譽と伝統を保持し、生徒会のよりよい発展のために努力してください。そこに「誠実・協調・真理探求」の精神が生きています。

新生徒会の活動に期待します。

昭和50年度 生徒会役員の仕事をおえて



副会長

佐伯裕之

「井の中の蛙大海を知らず」というよく使われることわざがあります。

私が一年間、生徒会役員として活動してきた中で感じたことは、生徒会活動に無関心な生徒が多かったということです。先に述べたように、昔の人は独り善りはだめ、世間をよく見よといっています。つまり、生徒一人一人が利己的な考えを持たずに、自分は生徒会の一員なんだということをお忘れず、少しでも生徒会活動に関心をもってほしいと言うことです。六百名の集団の一人一人が、積極的に生徒会活動へ参加したときの力ははかりしれないほど大きなものです。また、こうすることはびじょうに困難なことですが、不可能ではありません。

私達の後輩によって、少しでもこの目標に近づくことを期待します。



副会長

中村牧子

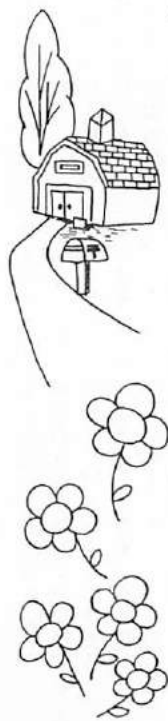
私が生徒会役員になって、はや一年の月日が流れました。比較的、この五稜中学の生徒会員は、生徒会について無関心な人が多く、そんな中で私達は私達なりに一生懸命やって来たつもりです。しかし、今、ふり返って来て、それが、実を結んだというのには、ほんの少し、10のうち2くらいなものですね。その主な原因は私達のいたならなさもありますが、みなさんの生徒会に対しての無関心さが、たまたまの生徒会に思っています。この二、三年前から、生徒会員の生徒会無関心への批判が高まっています、このままでするべつたりでいてはいけません。みなさんの「自治」ということに瞳をひらいて下さい。



書記

熊谷 司

今、この一年を振り返ってみて、自分自身なりに、努力したと思えますが、今、考えてみると、自分は、何をやったろうかという疑問が生まれてきます。生徒会の仕事で何をやっている時でもあまり活発にできませんでした。今考えてみれば、あの時にもっと積極的にやればよかったなあと思ったりします。でも、この一年間で、生徒会のいろんなことを学びました。最初は、なんにもわからず、ただ生徒会の役員になりましたが、今では、役員になって大変よかったです。生徒会の両面の仕事の苦労や他校との会議などは、ぼくに代わって貴重な経験となりました。最後に生徒会とは、生徒によって運営される生徒のためのものだから、みなさんが協力してくれたいら、もっとよい生徒会になるだろうと思えます。





書記

岸田茂子

私が生徒会役員になって一年。とても早く、自分でも何をやったのかわからないくらいでした。でも私は私なりに一生懸命やってきました。体育祭がすぎ文化祭、みなさんが一体になってやってくれたことは、私が役員になって一番うれしいことでした。五稜の生徒はよく生徒会役員と協力しないなどといわれていましたが、そんなことはありませんでした。みなさんはみなさんなりに一生懸命やってくれました。生徒会役員になってそれに気づきました。ですからみなさんは、これからも新役員と協力してよりよい五稜中をつくってってください。



会計

増田好美

長いようで短かった一年。今、生徒会の役員という仕事を、新しい役員にバトンタッチして、「なにもできなかったのではないのだろうか？」でも私たちは

私たちなりにやってきたと考えているのは、私だけだろうか。

たしかにめだつた活動はできなかったでも地味だつたがたしかに手ごたえはあつたように思う、行事の時などは、一人一人が、少しでも良いものになしようという意気があつた。

でもそれを、もつと高めようという努力がたりなかつたのではないのだろうか。私はけつして生徒会に厚い壁はないと思う。

これからも、一つ一つの問題を着実に真剣に、また生徒会役員だけでなく、多くの生徒が考えるようになってほしい。これからの生徒会活動に期待していきましょう。



会計

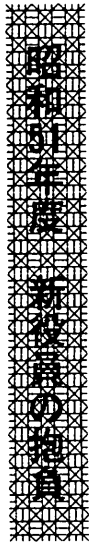
葛巻俊一

ぼくは、一年間生徒会役員の仕事をやってきた。成り立てのころは、役員とはどんなことをやり、また自分たちで、どれほど学校生活を改善できるかと思つた。

しかし結果は仕事をいろいろやつたようだが、それでいてあまり前進はなかつたように思う。

それにしても、生徒会活動の根本とも

いえる学級活動の不活発さが、目についた。自分の身近な問題なのに無関心なのか、それとも、どのように決まろうか、自分がこまるようなものなら破ればいいと、あまい考えがあるのかも知れない。とにかく来年度は、自分をはじめ、みんなが、学級活動を考え直し、そして活発にして、新生徒会役員を盛り上げ、なかみの濃い充実した学校生活にしたいと思つた。



新生徒会々々 岸 本 泉

副会長 熊谷 司

書記 吉田 ゆかり

人間も、ほかの多くの哺乳類と同じように、単独で生活をしないものです。これは、ぼくが思うには、単独であるよりも、団体（群れ）であつた方が利得になるところが多いからではないでしょうか。たとえば動物であれば、外敵から襲われにくい、人間であれば、仕事を分担し、能率もあがるし、助け合い、話し合ひで、いい結果が生まれる、もちろん、このような生活のしかたには、動物の本能的な意志か、そんなものがからんでいると思えますが。

だから、ぼくたちは家庭の中で生活し、学校に来ればクラスがあり、大きくいけば、五稜中生徒という団体で生活しますね。しかし、ただそれだけでは個々がばらばらで、なにもでてこない。だから、そこに、家庭には親がいて、学級には議長がいるように、生徒会の中にも、その代表、まとめ役という、我々役員がでてくるわけです。そこで、役員だけが独立したなにかの機関としてではなく、同じ生徒会員であるあなたがたとともに、「この学校の生徒会はやつてるな」という、そんな生徒会を造りあげたいと思います。

ぼくにとつて今年、中学校最後の年なので、昨年のいろいろな経験を生かしたいと思ひます。昨年は、まだ先強がいるというあまえがありましたか、今年からは、すべて自分達の力でやつていかなければなりません。私は、皆さんと力を合せて、五稜中学校生徒会を一步でも前進させるため、がんばりたいと思ひます。

副会長 加賀 多佳子

生徒会活動における協力とは、会員の一人一人が生徒会に関心を持つことから出発すると思ひます。その上で自己の意見を持ち、それを学活などを通して提出するので。必ずしも賛成ばかりが協力とは言えません。反論もりつばな協力につながります。反論があつてはじめて内容の充実した実のあるものとなるのです。皆さんの意見を楽しみにしています。

書記 向井 英一

それならば、それでねばならぬ。それだから、それになるだろう。それになれば、それだろう。何が何だかわからぬけ

ど、これをモットーにして行けば、何故お前のようなやつが書記になつたんだと、だからとも言われまい、よろしく…。

生徒会は、この学校の生徒全員で構成されているものです。その役員になつたからには今までのように甘つたるい気持ちで人にたよつてばかりはいられません。生徒会の中心として、目的を達成させるまで、努力して行きたいと思ひます。

会計 石山 恒治

小学校の時からいろいろな委員をやつてきたが、これほどの大役は初めてである。しかし、心構えはいつもと変わらない。ただ一生懸命やるだけだ。よりよい五稜中学校をつくるため校訓の誠実、協調、真理探求の精神でがんばりますので、皆さんの協力もよろしく願ひします。

会計 清水 徳子

中学時代その三年間は、長い人生の一段階として大切な一時期であります。私にとつてもこの一年一年を大切に意義ある中学生を送りたいと願ひします。生徒会の仕事も一つ一つが目新しくまた未知のことばかりです。しかし一つ一つが身についた経験になるよう…。一日一日の糧になるよう努力していきたいと思ひます。

専門委員会

1975年度の
活動を振り返る

◆代議委員会

今年度の代議委員会の活動の成果と言
えるものは、極くわずかでした。

代議員会において、決定され生徒会執
行部などによって、おこなわれたことは
いろいろありました。しかし、結局、代
議員自身の消極さ（なかには、人の意見
などを聞き流している人。そして、重要
かつ、貴重な発言は、先生方でありまし
た）などで良い成果をあげることができ
ませんでした。

それは、代議員としての自覚のたりな
い人の集まった、会合といえるのでし
う。そこで、来年度こそ、この紙面に今
年度と同じようなことを書くことがない
ように、代議委員会として活発に、それ
も独自の活動力を持った機関に成長する
ことを、期待しています。

◆生活委員会

今年の生活部は、あつたのかなかつた
のかわからないくらい不活発でした。そ
の原因には、生活委員一人一人のやる気
のなさ、自覚のなさがあげられると思
います。委員会でも、自分から進んで発表
した人は何人いるでしょう。ほんの数え
るほどしかいません。もっとも、委員長

である私にも、悪い所は数えきれないほ
どあるでしょう。それにしても残念なのは、
委員会での、あの緊迫感がなかった
ことです。これから話し合いをするなど
とは思えないほど、音楽室は毎週ざわめ
いています。

後輩の諸君は、みんなが、もっと意欲
をもって参加できるような、活気のある
委員会。精いっぱい動きまわられるような、
盛り上がりのある委員会。その望ましい
未来を追求してガンバッテ下さい。

◆学習委員会

「今年度の学習委員会は何をしたか？」
と問われても、返す言葉がありません。委
員会を開いても、二・三年は全く意見が
出てこなく、横目で時計をちらちら見て
そわそわしていたようす。（実は筆者も
そうであった。反省）一年生の一部のみ
が真剣に参加していました。（ここで筆
者は、今年度の学習委員会の成績につ
いて遺憾の意を表し、在校生諸君に前向
きの姿勢で一年後・二年後の生徒会を考
えてほしい。）ここで選挙管理委員長が何
か云いたい、といっているのです。

今年度の生徒会役員選挙は、立候補者
が昨年度よりいくぶん多かつたようです
が、まだまだ自分から進んで立候補する
人は、とても少ないと思います。来年度の

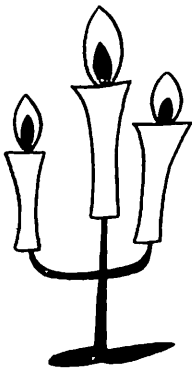
選挙に多くの方が、自分から進んで立候補するととてもいいなあ」と思います。

◆図書委員会

今年一年間、図書館の仕事をやって気づいた事は、やはり本を貸りる人が減ったという事です。やはり原因は、勉強でのいろいろな変化、それと僕たちが読む物自身が変わってきた事でしょう。

勉強にしても今では、考えるところに加工して暗記というのが重視されてきた事。又、あまり現代ばなれした書物を読む人が少なくなつたという事がいえそうです。そういう事から見ても、貸し出し率は決して「良い結果」とはいえませんでした。

しかし後輩のみなさん、これからは今までになかった新しい図書活動で、本をより多く生徒間に広め、よりよい環境にし、学校全体を盛り上げていって下さい。期待しています。



◆文化委員会

今年の文化委員活動は、昨年より積極的だったんじゃないかと思えます。島貫先生の指導により、生徒総会で文化委員みんなから他の委員へ質問させたり、etc……。この一年間だいたいやることはやつたと思えますが、しかし、よかつた事ばかりではありませんでした。廊下の掲示板の利用が少なくて、困つた時もありました。教室内の黒板利用がまだ出ていないクラスもありました。各部との交流もあまりありませんでした。こう考えてみると文化委員の仕事は、掲示物ばかりに思えがちなのですがそうともかぎりません。弁論大会の予選会の時は、各学年の文化委員が進行と集計係を受けもつてガンバリマシタ。来年も文化的ふんいきをもちあげる。各委員と協力する。この二つを土台にしがんばっていきたいと思います。

◆整美委員会

今年の整美委員会としては、前期も後期も「校内をきれいにする。」ということに、重点をおいてきました。その一つの例としては、清掃検査をやってきました。

た。これは毎年、「冬になると、ストーブがつくために校内がよごれる。」といわれているため、冬期間だけ行なわれてきました。が、今年は、前期も後期も一年を通して行なわれてきました。しかしその成果は少ししかなく依然として、先生方も「校内がよごれている。」などおっしゃっていました。なぜ私達委員が、がんばってもだめなのでしょう。それは生徒個人／＼「公共物を大切にしよう。」という気持ちがないからだと思えます。皆さんが公共心を持ちもつと積極的になれば必ず校内はきれいになるのです。最後に皆さんの協力で、よりよい学校をつくることを、願っています。

◆保健体育委員会

保健体育の仕事は、あまりないよう意外とあるものです。たとえば授業はもちろん体育大会、水泳大会、球技大会、遠足。このほかにもたくさんあります。大部分は前期の仕事で委員会活動は活発にできたと思います。しかし、後期はあまり活動できませんでした。保健に関してもぜんぜんと言っていないほどなにもしないように思われました。さて私達から見たみなさんは……。協力が、欠けているように感じられます。後輩のみなさん、今度「全生徒が、心身ともに健康で、安

「全な学校生活を」ということを最大の目標にしてもらいたいと思います。来年はぜひこの障害を克服して、より充実した委員会活動を活発にして下さい。

◆厚生委員会

学校給食が実施されて三年、厚生委員の活動もだんだんと活気を帯びてきて、給食活動も今では、スムーズに行なわれるようになってきました。しかし、残念なこともありました。それは委員会における委員の集まりの悪いことや、皆さんの協力が少なかったことです。ですから仕事がなかなかはかどりません。来年度はぜひこの障害を克服して、より充実した委員会活動を展開して下さい。期待しています。

◆ベルマーク委員会

今年はい、学校備品を少しでも手に入れようと思ひ、努力したのですが、まだまだ足りません。ポスターを書いたりPRをしました、あまりもありがたありません。六百人一人一人が、この活動をもりあげていこう、皆さんが、一つ二つ集めて行けば、設備だけでなく、いろいろな面で、たとえば、学校全体のまとまりなど、すばらしい、すてきな学校になると

思う。

◆放送局

私達がこの五稜中学校放送局に入って、一年の月日が流れました。今かえりみるとその間の放送内容について、色々反省すべき事、後悔する事など沢山あります。今さら「んんん」ことをくり返してみても

うにもなるものでもありませんが、その経験をぜひ後輩のみなさんに生かしてもらいたいものです。ところで、みなさんも良くご存じかとは思いますが今年の文化祭でのサテライトスタジオのパンチD Eデートは、大盛況のうちに終り、色々派生した問題も数々ありました、まずは大成功でした。あれもこれもみなさんのおかげです。最後にお世話になった先生方、又機械をはこぶためにお世話になった人、及びラ・サール高校の理科クラブの物理班のみなさん、どうもありがとうございました。

◆応援団

応援団の練習不足という点を反省しています。しかし、それでも我々は一生懸命に努力したつもりです。残念なのは、今年も他校にくらべて大変貧弱でした。理由としては「団員にやる気がない・真剣味がない」「生徒が声を出さない」「今年はい応援団の組織が改正」も、理由の一つになるでしょう。

これを解決するには、応援団員をはじめ全生徒が心一つにして積極的に協力し合って応援することだと思ひます。

来年度は、応援団員の練習をつみかさねて、中体連で、他校を圧倒するすばらしい応援をして下さい。

そして生徒の皆さんも、力いっぱい腹から声を出して協力して下さい。



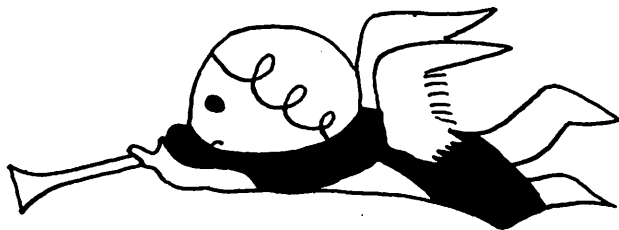
クラブ活動

青春

あなたは走る
その自信と希望に輝く瞳を持って
暗い一節の光さえもない世界で
あなたは何を求めて…

あなたは飛ぶ
空の中にすい込れてしまう位
空の青さとあなたの光がひとつとなって
あなたは 何がゆえに…

友と語らい 手をつないで
その青春の頃に
明日を求めて
あなたは今日も走る—



野 球 部

私達の練習は、四月の末から始め、全道出場の夢を持って、頑張ってきましたが、しかし惜しくも中体連で負け3位に終わってしまった。負けた原因は、あの外角からにげるカーブにまどわされて、感がにぶったからだ。

やはり練習の時の真剣さというか、熱心さが幾分欠けていたようだ。
なんととってもチームワークが大切な



スポーツであるからにして、全員がベストコンディションで試合に望まねばならないが、中体連のときはその点で欠けていた。来年はぜひ優勝し、全道へ向かってがんばるように、一戦一戦をだいにし、自分のもってるものを全部試合に出せるように、なつてほしいと思います。猪狩先生、館洞先生それに先輩方には、長いあいだお世話になりました。

ありがとうございます。

蹴 球 部

私達は昨年、不本意な成績に終わったので、今年は一から出直すつもりで練習に励んできましたが、昨年同様屈辱的な年を送ってしまいました。また、最近の試合にラフなプレーが多くなつてきたことも残念です。——一九七〇年メキシコ・ワールドカップ予選のベルギー対ユーゴの試合で、ベルギーは、ジャイッチをこわしてしまえば勝るとばかり、キックオフの笛とともに、まだ一度もボールにふれていない彼の足をキックし、上体にパンチをあげた。——我々の試合での反則は、これにくらべるとほんとうに小さなことではあるが、反則にはちがいない。またジャイッチは（常に世界のベスト11に入るプロ選手、また、教師の資格を持つインテリでもある。）「いまのま



まの荒つっぽいサッカーが続くようなら、サッカーは近い将来、きつと死にたえてしまふだろう。とまでいつている。

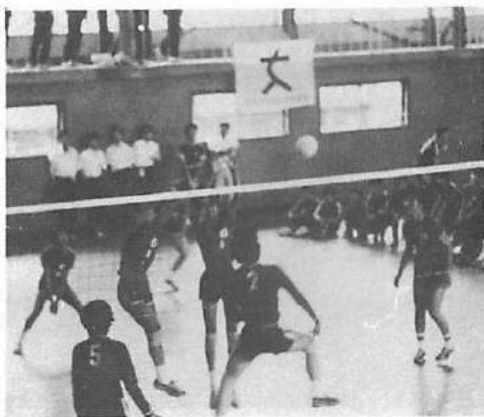
そこで後輩諸君、勝つための努力も大切だが、正しいサッカーを身につけるよう努力してほしい。

排 球 部

まあ我々は中学生であるし、日曜と祭日以外は学校へ通わなければならないことになつているので、毎日いやいややつて

来る。そんな毎日の楽しみといえ、放課後のクラブくらいなもので、授業が終わると体育館へ駆けて行く。時々、めがねのためきおやじ、いや失礼、佐々木雄幸大先生がえつちらおつちらやって来るとにかく実に楽しいものである。

新人戦も中体連もたいした成績はとることができなかったが、しかし、今思えばそのクラブの一人一人が何かを学んでいけばそれでいいのだなどと先輩一同負け悔しみをつぶやく今日このごろのバレー部なのである。最後に一言、わがバレー部に栄光あれ、みんな毎日楽しくやれよ。



籃球部

五稜中で一番弱いクラブと聞けば、かならず「バスケット部」と言われるでしょう。私達も努力はしているのですが、いっこうに成果があがっていないのです。今年のの中体連の結果は、第一回戦大川中に負け、財者復活戦では付属中にも負けたという結果に終わってしまいました。それじゃあ「バスケット部は、何をやっているんだ」と言うだろうが、みんな一



生懸命頑張ってきたつもりです。夏は、トレーニングシャツをびしょびしょにして、また冬は、手を真っ赤にしてやってきました。結果は残念でしたけれど、皆悔はないと思います。後輩の皆さん、これからは練習に練習を重ね、その中からチームワークを作っていくして下さい。来年こそは、入賞して私達に喜びの声を聞かせて下さい。

陸上競技部

去年の、テニス部は、部員が少なかった。その前の年も、多くはなかったが、三年生が7人いた。だが、去年は、たったの3人だった。入部するものは、たくさんいるが、ほとんどの人が、練習にこない。

だが、少い方が、一人一人が、より多く練習ができるし、練習を、まじめにやっていると、試合に、出ることもできるだろう。

去年の反省という、練習が少なかったと思う。いつも同じことばかりをやっている、走ることなど全然やらなかった。今、おもうと、もっと練習をやっておけばよかったと思う。中体連のすこし前になって、フットワークの練習を、少しやっただけである。

今年、がんばってほしい。

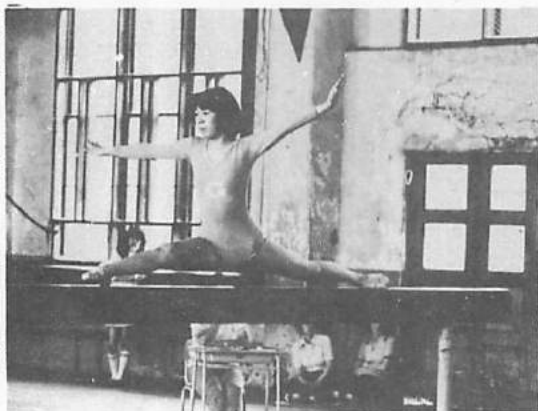
卓球部

二間廊下の片隅にあるほこりをかぶつは卓球台、幾年もの間、受け継がれて来た伝統。先輩達の汗と涙のしみついた卓球台。そんな中で卓球の練習に明け暮れて、もう三年になりました。思えば長いようで短かい三年間でした。入部当時は60人以上もいたこの部も、いつしか一人減り、二人減りと私達が3年生になる頃男子3年0人、女子もほんの数えるほど



でした。みんながやめてゆく理由は、練習がきびしい、球ひろいがいやだとか、様々だと思えますが、結局はみんな見かけだけの卓球の楽しさにあこがれていたのです。最近の我部の弱体の理由もこの辺にあるのではないかと思えます。今私達が望むことは、先輩のみなさんに苦しい練習をこえた卓球の本当の楽しさを知ってもらいたい、ということ。そしてその楽しさを君達の後輩に継いで下さい。苦しみが楽しみに変わって、いつの日か、又再び栄光の卓球部となることを願っています。みなさんどうぞこれからがんばって下さい。

体操部



「体操」この二字にあこがれて入部したが、それはテレビで見えるように、華やかでなまやさしいものではなかった。授業が終わったりあたりが暗くなるまで激しい練習に明け暮れ、あざだらけになり、皮をむいたり、つき指等をがまんした三年間ただ体操をしたくて頑張り続けて来ました。過去の記録を見ると、「体操五稜」と言うように、先輩達はすばらしい成績

を残しています。私達は入賞する事も出来ませんでした。が、体操を通じて、多くの事を学び多くの友達が出来たというこ
とだけで、この三年間がムダではなかつたと思います。体操とは反復練習の繰り返
しが必要であり、努力をしなければウルトラCも生まれな
いと思います。後輩諸君も私達に負けず努力し、すばらしい演技が出来
るように頑張ってください。最後に私達で指導して下さ
った先生、先輩らに感謝致します。



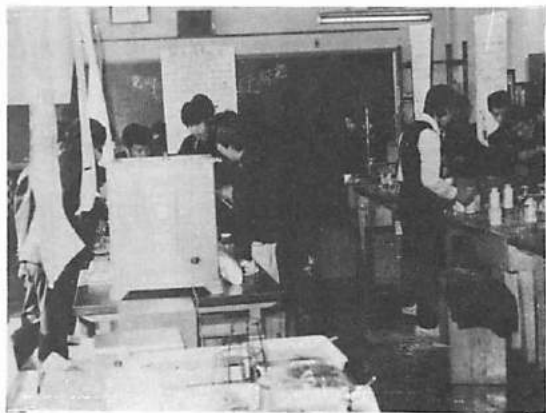
水泳部

今年の水泳部は、全力投球をしたとい
う実感がありました。そのせいか大会の
記録は、放送水泳大会男子の部三位、中
体連水泳競技大会男子の部二位、とい
うまあまあの記録でした。女子の部は、一
年生、二年生だけで、条件が良くなかつ
たせいか、良くはありませんでした。

ところで水泳部は「伝統語」という言葉
があります。それは一言、「泳げばなお
る。」です。「オレ頭がいてえ。」「40度の
熱で休む。」と、いうと、「何、泳げばな
おる。」と一言言われ、プールにつきおと
されるのです。「この精神は、将来の水泳
界を革新する物ではないか」と鹿角先生
も目から鼻水、鼻から涙を流しておつし
つておりました。以上。

理科クラブ

今年理科クラブの活動は低迷だった。
その理由としては、顧問の先生の都合
によりクラブ活動が毎週一回ぐらいいし
なかつたことと、クラブ部員のたいいて
が入部の時から積極さがなかつたことだ。
しかし、一年中だからだとやっていた
わけではない。文化祭の時には、0次元
の館、理科の展示会場、自由研究などあ



り、0次元の館では、つくえの出し入れ
などや、展示会場の方では、実験の説明
を書いたり、予備実験などして、毎日放
課後おそくまでやり、一年中の仕事がい
っぱんに来たみたいそがしかった。

部部長が言うにはなんだか、理科クラブ
とは、文化祭があるから、盛り上つてい
るようなものだ。

しかし、来年度理科クラブに入る人は
文化祭だけでなく、一年を通して活動を
して、理科クラブの意義を見つけてもら
いたいと思う。

読書部

まい年、考えることですが、よく読む人と、あまり読まない人との差が大変大きいことを感じます。

あまり読まない人たちは、本堂先生も悩んでおりますが、私は読まない人たちは読書のほんとうのたのしみがよくわかっていないのではないだろうかと考えています。

せわしい現代、することの多い中学生時代に生きていて読書は、たしかに根氣のいることですが良い本にめぐり会うことは私たちが成長していくのに欠かせません。後輩のみなさん方はよくこの点を考えて、より良いクラブ活動を盛り上げて下さい。

家庭科クラブ

部員が少ない……それが私達のクラブの、最大の悩みなのです。最初の頃は思わず、はたしてこれでもともに活動できるのかしら……と、思ってしまったほどです。それでも唯一の活動どき、文化祭のときはみんながんばって、作品を取りくみましたが、なにしろ少人数なので先生中心になってしまい、先生の都合



の悪い時は中止、作品は各自自宅で、ということになってしまいました。部員が集まって作ることが少ないせい、か、なんとなくものたりない淋しい気がしています。

来年はもっと活動を活発にし、部員もふやしたい、と思っているのですが……とにかく今年満足にできなかった分も、来年に期待しています。

美術部

美術部の大きな行事に、「文化祭」があります。あの時ほど、美術部とは、素晴らしいクラブだ。と、思ったことはあ

りません。なぜならば、普段、余りバツトしていなかった美術部が、あんなに新鮮で、生き生きしていたからです。私達が、苦勞して作り上げた、展示室には、二日間とも人がいっぱいで、食事も満足に出来ないほど、忙しかつたのです。それに、私達の努力も、大へんなものでした。文化祭の前日は、夜を遅くまで、当日は、まだ薄暗い時間から学校に来て、準備をしました。その結果、大成功を、治めました。預金もたくさん集まり、歳末助け合いに、寄附する事も出来、ほんとうに、すばらしい「文化祭」でした。そして、今後の美術部に、「芸術は、教育と遊びの最も偉大な事業である。」の言葉に基づき、より、すばらしいクラブにしてくれる事を、期待します。

合唱部

今年一年の私達の活動は昨年の三月から始まりました。四月までは、入学式の時歌う曲を、それ以後は主にコンクール出場のための練習をしてきました。

その中で特に思い出として残っているのは、夏休み。発音がだめで先生にしごかれたこと、先輩がわざわざ来て指導してくださったことなど……

二学期。なかなかみんな集まらなくて練習ができなかった日、割合上手に歌え

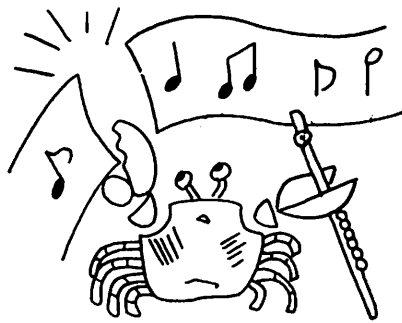
た日、そしてコンクール……………

私達は、歌と仲間と共にしてきました。そして彼らとの思い出は中学校生活のページとしてずっと心の奥に刻まれていると思います。



アマチュア無線についてはみなさんはいくらか御存じだと思います。「CQ、CQ、こちらはJA8△OX」というのがそうです。電波によって遠い地方の人、また場合によっては地球の裏側の国とQSO（交信）するものです。

さて、五稜中でのアマ無線の活動は、49年度から始まりました。それは、JA8YRC/8というコールがおりたからです。有名なコールサインなので、一度くらいは聞いたことがあると思います。しかし、学校の正式なクラブでないので文化祭の公開実験をする程度ですが、それでもそこで一生懸命にやってみました。屋根にアンテナをあげ、オスカー通信を試みるなど、昨年度に失敗したTVI（電波障害）もなくやりとげました。今後もなんとか正式なクラブにするため努力していきたいと思っています。



応 援 歌

作詩 成 田 淳 一 (48年3月卒)
作曲 土 橋 早知子 (48年3月卒)

ここにひかえしわが選手
他校に負けぬ栄光の
道をめざして今ゆかん
五稜が丘にわが母校

その名も知れた五稜郭
桜の花をしるしとし
その名も響かせ全国に
今こそゆかんわが母校

七十二の瞳 一年A組

むかし、あるところに、男子二十二名、女子十七名が住んでいた。いつのまにか男子十九名、女子十六名、中性一名、計三十六名に変わっていた。このなぞは、一・Aだけが知っている。では日ごろの様子を伝えたいと思う。

ジリリリリ——ンノ

ベルが鳴ると、すぐ学習態勢を整える。そして、教室はシーンとなる。な〜んてことはない。ベルという鳴りモノは、テッテイ的に無視する。そうなのだ。ここはムシコちゃんとムシオ君がうまい具合にとけあつてるのだ。先生の来る直前に生徒の「来たッ」という声を合図に、何事もなかったかのようには波はおとなしくなる。しかし、時おり失敗に終わる。先生さまが戸を開く音で、あわてて着席するのだ。まだまだ、修行がたりないようである。ところが、おかしくもなんともないモノで、「先生サマがいらつしやつた時から授業は始まる。」なんて考えのヤツは一匹もいない。ただし、一人はいる。授業中はとにかくスゴイ。(何がスゴイか尋ねられたら、二ツコリ笑ってごまかそう。)

一部例をあげると、こないだの自習時間、となりクラスで授業やつてる先生が、わざわざ尋ねて来てくれた。だれであったかは忘れたが、あのときの先生にはとつてもすまないと思つてる。せつかく、いらしてくれたのに、お茶の一つもださないで……。

話をまんなかにもどそうと思う。おそらくこのスゴサは一・A滅びまで続くだろうと予言した先生もいる。

ネタが切れてきたので、担任についても書かせてもらおうことにしよう。一口にいつて、夜空に輝くうめ星のような感じだ。世界に一人いるかどうか……。どこか、人間離れた先

生サマである。(どういう意味かと尋ねられたら、笑ってごまかそう。)

まあ、いちおう先生と生徒はうまくいつている。それでは、一・Aの今後の課題は何だろう。目を閉じてよく考えてみよう。

「冬が来て春が来たなら夏になる。」

季節は移り変わり、あとから梅やんでも遅いのだ。そうだった!! 一・Aは協力性に欠けていた。—— みんなで団結すればテストの苦しみはなくなるだろう。——

—— 追伸 ——

ハハハハ……。ただ、「ツイシン」というのを書いたのだノザマーミロ。





第一章 一B・その歴史

忘れもしない十月十五日の午前十一時二〇分頃、夢か奇跡か現実か。とにかく夢のようなできごとが起こり、私達は、喜びの声の中にながら夢のようなきごとと何となく何か。みなさん、思い出しましたか。そうですね。我々一Bは、文化祭合奏コンクールで、みごと、最優秀を勝ち取ったのです。でも、なぜこれが夢のようなきごとなのか、一Bの一年間を振り返りながら説明しましょう。

まず、六月の体育祭は、よき青空とよきそよ風という好天気にもかかわらず、クラス全員の応援の成果もあらわれずみごと!!「最下位」という記録を作ったのです。そして、八月の水泳大会では、男女総合、最後から二位という成績。九月の球技大会は第三位。そして、一学期も二学期もテストの平均点は上昇せず、ついに五クラスのうち……という成績なのです。アア情けなや。私達編集員一同は、一Bの一同は、一Bの悪口を並べているではありません。ありのままを書いているのです。それだけに、コンクール優勝は夢のようなきごとだったのです。そして私達は、「なぜばなる。なきねばならぬ何事も。」という言葉どおりに、五稜中の歴史の中に新しい足跡をつけたのです。

第二章 一B&川原先生

★男子について★

- 人数十九人。美男子の集団 (例外アリ)
- 成績優秀(?) スポーツ万能 (マサカカ)
- いつもニコニコ、笑顔でハッスル。
- 女子にモテモテ。毎年バレンタインデーの季節になるとチョコのかたづけ方をいつも考えているとか……。

★女子について★

- 人数十八人。美女ぞろい (ほとんど例外)
- 成績優秀。料理、得意中の得意。
- 男子にモテモテ (二部例外アリ)
- 礼儀バツチリ、おしとやか。

★先生について★

- 職員室に咲く一輪の花。たとえと、ベルサイユのバラか、シクラメンのかほりか、というところ。
- 生徒の立場を考えてくれるよい先生。

★先生から★

快食・快眠・快便は、健康のもとといわれるが、一Bはさらに快笑・快話をつけ加える必要あり。楽しい子供たちだ。みんなで始めた朝の学習は、順調だ。「わからなかった」から「うーん。わかった」の喜びをみんなでつかまえてほしい。一日五分が三月まで続いたら、

VERY GOOD!

一年C組

これは、このプロフィールを書くために、一年C組のみならずこの一年間どんなことが印象に残っているかを、アンケートにとった結果をまとめたものです。

「合奏コンクール」では……

★「コンドルは飛んでいく」

「一位は飛んでいく」ではなくどこでまちがえたか二位になってしまった。

そこで一言。おめでとう。明智君。」

「水泳大会」では……

★お魚になった、わ・た・……

総合優勝だ!! ワァーイ。

「タワーリングインフェルノ」では……

★いびきをかいていたX君。

いびけ少年、前夜勉強のしすぎか?

「入学式」では……

★先生が「私はヒラムキです。シラムキではありません。」と言ったくせに、ヒョウウサツをシヨウウサツと言った。

「授業中」の傑作では……

※皆様、毎時間難問に苦しんでいるせいか、熱念的?に回答ナシ!!

(わかるかね? 明智君。長嶋さんに聞いてもらんよ。)

「炊事遠足」では……

★みんな、いやしさのあまり食い荒した遠足。

(ファン!! 生活がわかる)

★その時写したスライドを後で見たみんなは、初めての、自分の紫顔を自覚しようだった。

「放課後」の傑作では……

★苦心して粘土で作らあげた先生の顔。ナント!! どこでドジッたか、小円遊になってしまった。ワーン。こずえちゃーん。(初登場!! K君得意の言葉)

「先生」のことでは……

※ここはまた非常に回答多し。

★習字の先生、きちようめん。

社会の先生、愉快。(実はこわい)

数学の先生、「また、いちいち。」

美術の先生、恐怖のみみあげ。

(今度こそ、わかっただろう明智君)

以上 アンケート終わり。

先生!! 一年間、本当にありがとうございました。先生は、いつまでも私達を、やさしく見守ってくださいました。

私達のような愉快な生徒を担当して、退屈しなかったでしょう。???

「ウン、ウン。」(先生、納得)

私達、二年生になっても、さらにはがんばりますから、先生、応援してくださいね。



一年D組

函館の灘中こと一年D組。

男女の各人数不明、各人の個性は芸術的で、バラエティーに富み、凡人とはとてもいえない。いわば、奇才の集団といふべきか。

男女同権（これは男子の力を力で防いだ、将来中ピ連に入ると思われるKさんと中性人間M君の力によるところ大）の直接民主主義である。

気憶力バツグン。先生にしかられ、後十分までは反省心を持つが、その気憶は自動的に消滅し先生に対する憎しみに（田中先生はかえろと言ったが、適当な言葉がなかったため、あしからず。）変わり一生忘れない（？）

特技は、休み時間のバカさわぎ。女子は、女子なりに、ふざけ、わめき、大口をあけて笑いこけ、発きようしている。男子は、オニゴツコと、有名ないびり合い、ひ害者は、おはようチンパン、つぶれおにぎり、一Dのこまわりなどなど、あだ名も豊富なS君である。しかし、S君はひ害者でありながら、とても楽しんでる。（これが世界の三大ナゾ）とにかく、休み時間ほど、楽しいものは絶対がない。

それともう一つの特技は、給食の早食いである。給食時間は、女子も男子も、目の色が変わる。（まだまだ色気より食い気）しかしわれわれも、人間であった。きらいなものもある。それはすべて、別名さんべい君にやっつけてしまう。さんべい君は、外見では、それをきよ否しているように見えるが、結局きよ否しながらも食べてしまう。（一種の食物連鎖がある。フムフム）

いつもこの調子だから、自習時間は、ひどいものだ。学級目標である。「一致協力」もむなしく、学習委員をのぞいた

ほぼ全員が、わめき出す。わめく中心はなんといっても、一同の模範になるはずの議長、副議長だ。（たまに変こうすることあり。）大いに反省はしているのだが、この楽しさから身をひくことは非常に難しい。（一同、顔を見りや、わかる……。）こんな一Dにも長所があつた。それは、みんな明るく、思つたことは、何でもいえることだ。（ついでに胴も長い所です。）

これで顔がよければ最高のクラスだ。
わが、一年D組よ、ばんざい●



一年日組

それは、全く不思議なクラスです。
男か女か、女か男か、全くわからないんですから——。
「えっ」先生？ 男ですよ。

◎男性生徒について紹介

- とつも、やさしいです。ホント？
- 重い仕事、疲れる仕事は、全部してくれます。女子一同——ホントに、そうね。でも——給食の牛乳、飲ませないのです。（普段の生活わかるわね。）

◎次に、女性徒について紹介

- これは、すごいのです。

授業中、すばらしく静かであった女子が、終わりのベルを聞くとともに変身。女子はほえながら、男子を追いかけるのです。（どうしてかわかりません。）男子、真つ青になって飛び込んだ所は男子便所——さすがの女子もがっかり教室へ。でも、女子にも長所はあります。「それは——、それは——」なかなか、できません。「ええ——」5分——10分——まだできません。やっつてきました。

「いつも、明かるいことです。」
男子一同——ほんとは、もつとあります。
男子十九名、女子十八名。合計三十七名はこういう生徒です。
「ここで、ちよつとひといき。」

私達は、とてもよく運動しています。

「体育の時間でしよう。」

いいえちがいます。我らの担任、酒田先生の授業です。（数学ですよ）

10分として自分の席に着いていることが、ありません。あつちの黒板、こつちの黒板と走つてあるくのです。

——オーバーかしら？——

しかし授業中は、静かすぎて気味が悪くなるほどです。

おとなしいって言つてよいのか、何と言つてよいのか……？

今まで、まだ成績のことが、できていませんネ、「もちろん」成績優秀です。

——一日は、酒田先生をはじめ、各委員を中心にチームワークのよいクラスです。

——最後に、一同で——

「読者のみなさん、さようなら」

二年A組

われらが誇る2年A組を紹介します。
初めに担任を紹介します。

名前 島貫 譲（自分ではジョーといっている。）

ニックネーム、黄金バット。

私達からみた先生は、二十世紀の人間とは思えないほどの

美男子??????????...

島貫先生が担任になってから賞状がいつもどこかにいつ

しまつて一枚しか手にはいらなないのです。

次に男子を紹介します。

明るく、おもしろく、たくましい。

しかし、うるさいのが玉にキズ。

みんなマタシタ1.2メートル（ホント、タダシ例外アリ）

目の大きさは、サマザマで...

金魚のような目から一直線の目まで。

顔は、ハンサムぞろいです。（全部例外）

でも、自分ではよい顔だと思ってる人も少なくありません。

HEADSなんたちですね。（これを読んでる人もノ）

頭の方は、天才、秀才、凡才サマザマ。

いつもフアイトがないと担任から気合いをかけられています。

次に女子を紹介します。

明るく、やさしく、たくましい?????

しかし、男まさりが玉にキズ。

胴の長さは、イッチョマエ。

口の大きさは小さくて直径20センチ（ホント）

足の太さは一人前（ホントは二〜三人前）

足の長さは三分の一人前、顔の悪さは父ゆずり。

頭の悪さは、TEACHERゆずり?????

「口にガムテープをはれノ」と担任から命令されています。
次に授業風景です。

○月△日 1 学活 議長の声だけがひびく。

○月△日 2 数学 先生の来るのがおそい（なぜか?）

○月△日 3 国語 漢詩・漢文のお勉強。いつ指定されるか冷や汗のかきどろし。

○月△日 4 英語 先生にまけずに、「JAPANESEを話す?????」

○月△日 5 体育 このときだけは、皆元気ノ

○月△日 6 社会 この時間は電気をつけたことがない。けれどそれでも知識吸収。

このようにわが2年A組は、授業時間は、静かで、体育の時間は活発ノデス。

給食時間は、みんなの生活の様子が、にじみでるので、皆おかわりしない。「高級品だけ食べているのかノ」(担任の声)

休み時間とはいうと、男子がストープのまわりにズラーノ何やら無気味な感じで女子は、はじのほうで小さくなって、お勉強の話?をしている。

このようにわがクラスは、HEADSといえるような、いいえなようなクラスですが、一人だけHEADSな人がいるのです。なんとこれもこの人。

一日一日に生まれたS君。このS君がいるかぎり2年A組は、ずっとHEADSであるでしょう。

2年A組
は
不滅です



2年B組

まず我クラス2年B組とは、男子二五名、女子一六名で構成されており、男女ともにスポーツ万能、チームワーク抜群なので。例えば、校内水泳大会男子、はずかしくても最下位、女子優賞、校内合唱コンクール、第三位、校内球技大会、総合第二位。BUT、体育祭だけは男女ともに最下位でした。(これもチームワークのうち!!)これで我2年Bがスポーツ万能である!! ことがわかったと思いますが、我々はSTUdyときたら、まるでだめ!! テストが近くなっても白けっぱなし……。成績はいつも最下位……。かぜがはやった12月——他のクラスが五人以上も休んでいるのに我クラスは0人、なんと!! これこそバカの集団(?) というのであろうか(なあってウソです)。

次に我クラスのある日の授業風景について。一時間目—学活、誰一人として意見を言う人がいない。立派な議長いわく、「ボクちゃん、困っちゃう!!」

二時間—英語、この時間になると、我々のズーズ弁がでてすまってね—困るんすよオ。ネッN先生!!

三時間目—数学、どうもこの時間はあくびがでるのはやさしいO先生の美声のせいかしら?

四時間目—社会、この時間になるとにぎやかになります。H先生どうしてでしょうかネ!

給食時間—男女ともにストープのまわりに……。厚生委員のメガネ君の美声で、「いっただきまあす!」NOW、ボくら食べる人オ。

五時間目—理科、発音の良い日本語を話す先生です。皆、尊

敬のまなざしで見上げられます。(白目で!) 授業の内容については? ゴメンネ、Y先生(みんなウソです)。六時間目—国話、この時間は皆、ねこをかぶってイイコぶるのです。えらいでしょうか?。僕達、ネッノT先生。次に、我クラスの林先生について、我々の担任林先生はやさすぎる位、やさしいのです。テストが近くなると、口ぐせのように、「勉強せえ、勉強せえ」と言うのです。でも我々は無視で統一?、でも実力テストは、抜群。休み時間は2Bの天下!!。そうきんの投げ合っこ、廊下でのサッカー遊び、等色々、女子? 女子はモッチ、井戸端会議なのです。

これで2年B組がどれほどのクラスかわかったかと思えます。では、以上で終らせていただきます。



2年C組

C組、それはまことにひどい学級である。下品、卑劣、いやらしい、ずるい、卑法、H……のすべての言葉に合てはまるのだ。(俺たちに、無理やりこんな物を書かせるからこうなるのだ。)

まともな人間がC組の教室に入ると、どんな者が見えるだろう? ヒラメがいたと思えばカエルもいる。あちらを向けば半魚人、こちらを向けば、サルにゴリラに、ピラニアだ。まだまだいる。にきびだらけの長草、バケネコ、眉毛だけの男鼻だけの男、目玉だけの男、頭にコブのある男……これ以上喋ると生命にかかわるため、やめておこう。

さて、これだけ悪いことを書いたら、スツとした。今度はよい点について少々書くべかに。

長所その1。人間的にさっぱりしている。この間、WCである男がブイッとやった。そこで一言「いいだろう、どうせトイレはくさいんだ。」

長所、その2。何ごとにも熱心なのである。なにしろ体育などは、授業が始まる前は、あれほど長かった足が、終わってみると、胴体にめりこんでいたとか……。

また、前に、ある男が『Hな本』を持って来て見つかった。やはり、そちらの方面でも、熱心なようである……。

長所、その3。みんなが天才的であるのだ。英語の時間、先生も理解できないと言う、未開発の言葉を発したり……。

休み時間に、二三人で激しく論じ合っているから聞いてみたら、スケベな知識を競い合っていたり……。

つまり、つまり、つまり、五稜中の中で有名な二年C組の構造をまとめると……ミキサーの中にスケベ味と、変態味と、天才味を入れて、スイッチを押した様なクラスなのだ。

一度来て見ろよ、C組へノ。しかし、あまりのさわがしさに耳鼻科に行くようなことがあっても、C組はいつさい関知しないから、そのつもりで……。なお、この文章は、こ一行で終わる……。

……と、適当に終わるつもりだったが、米田先生が、おつかない顔をして、「短かすぎるノもつと長くかいてこいノ」と、どなったので、しかたがない、あと三百六十字ほど書くかノえ——つ、アツ忘れていたことがある。それは、2年C組が実にいじきたない組だノということだ。ウン、そうだ、そうだ、これがぬけていた。だいたいにおいて担任がビニールの袋をさげて、C組の連中さえのこした物を家に大切に持って帰るといのがまちがっている。犬にやると先生はおっしゃるが、うわざによると自分が食べるとか……。その証拠には、冬休みに腸が脱線して運行(ウンコ)不通となったそうなの……。

そんな先生殿のクラスだから、生徒の方も、給食時間が始まる前に自分の分を食い終わる様なやつや、ストープ、あのみんなが足を乗せるストープの上でパンをやいて食べようとするやつがでてくるのだ……。

アーメン

どうやらこの原稿も終わりに近づいた。この文章の著者は気がいいではないか?と言う疑問を残したまま、ここで、ザツ!! エンドとなるのである。



2ねんDぐみ

我々2年D組はたいへん明るくみんなの個性が十二分に発揮される。自由な、いや自由すぎる雰囲気のあるクラスなのです。

奇人変人たまには変態、常に笑顔を失わずみんなの口もととはゆるみっぱなし、あっちでキャーキャーこっちでキャー。

明朗そのもののわがクラスにはあかりはいらないのです？

なんのとりえもない2年D組、勉強も運動も特別できるわけでもないのに、なぜか休み時間と給食の時間になるとみんなのひともはランランと輝くのです。（どのクラスもそうですね）教室を走り回りいすを投げ出し、果ては黒板にあなをあける。ガラスをわる。戸をこわす。先生、用務員のおじさん、おばさんごめんない。なんといっても成長期の2年D組、活発なのです。

だれかが悲しければみんなで泣く、だれかがうれしければみんなでばかみたく大きな口をあけて笑う。深い深いきずなで結ばれている2年D組、みんなで団結して明日へ歩もうと誓ったのに、運が悪いというか、なんというか、なぜか賞状の数は少ないのです。

学級目標である“自由”“明朗”“活発”“団結”はこのように守られているのです。しかし今は「あんたあの娘のなんなのさ」などというのはもう遅すぎる。

「オヨヨ」に「グッ」も、もう古い「2年D組は幼稚園」も、もう古いのです。中学校生活の3年目をむかえようとしている私達。

エネルギーと可能性が渦巻いているようです。

我々2年D組が世界制覇を成し遂げる日はもう遠くないのです。



2年E組プロファイル

一口に言うと、ヒバリの住みかのようなクラス（つまりピ
ーチクパーチクとうるさい。）特に、学活と給食時間は、みん
な大変静かにさわぐ。でも協調性はあつて

●球技大会 女子優勝

●水泳大会 男女総合共に二位

●体育大会 男女総合共に三位

と好成績をおさめました。（女子の方がスポーツ万能？）

では、具体的説明に移ります。

(1)男子二十四人、おかま一人おなべ一人すごい日だけど
ハンサムでかっこいい。（例外あり）

(2)女子十六人、雪女一人

いやらしい（一部例外）が陽気で美人ぞろい。

(3)先生一人 男

無口だが、教養あり優しい心の持ち主。（な〜んで今の
じょうだん）

一、男子にインタビュ―

このクラスをどう思いますか？

●どうって…二年E組だろうネ

●（ハナクソをほじりながら）別に良くも悪くもないナア
（てんで無関心）

●おもしろくって、ちびっちゃんいそー

女子をどう思いますか？

●このクラスに女子なんていないだろ

●胴の長さでは、かなわない

●メジヤないね、無視ノムシノ
（女子一同 ジロツ）

二、女子にインタビュ―

男子をどう思いますか？

●食い意地がはつて短足をシンボルにしているみたい

●イモばっかりだワ

（男子一同ギロリ、女子…殺気ノ）

男子と女子の関係は？

●無関心という関係

三、男女共にインタビュ―

先生についての感想は？

●ちびたケシゴムのようなコンパスが魅力ですネ？

●教壇にあがらないと顔が見えないのが気になるなあ……

というような私達ですが、毎日楽しく暮らしているらしいで
す。



文苑



第3回中学生作文コンクール(毎日新聞社主催) 市長会長賞受賞作品

「思いやりのある生活」

一年 池田道子

私の日常生活をふり返ると、あまりにも機械的で、自己中心的である。朝起きて食事をし、適当に勉強し、遊ぶ、そして夜は床に入り寝る。また、自分で本を読んだり勉強している時は食事の時間をもずらしてしまうことがある。一日一日の生活で、自分はこれでよいのか、人間の生き方はこれでよいのかというような反省がないように思う。

ある時私は本屋の一角で、論語という字を見た。昔のことわざが何かかかと思つて手にした。あまりよくわからないのでさつそく事典をみた。その論語の中に、曾子曰く「吾日三省身ヲ三省ス」という言葉があった。曾子は孔子晩年の入門者で目だたない存在ではあつたが孔子の死後、門人たちが各地に散つたあとその学団を維持し、儒教の伝承に功績をあげた彼はこつこつと努力する平凡な人間であつたという。私はこの話を読んだとき心をうたれた。それは、同じ平凡な人間でありながら彼が自分の生活態度を真剣に考え、正しく生きることに努力した点である。

私は、自分自身の生活を省みて、愛の気持がたりないように思う。たとえば、相手の身になつてものを考えたことがあるか、自分の損得をぬきにして行動したことがあるか。こう反省してみると、そのようなことはあまりないように思う。つまり愛の欠如である。

なにげない言葉が相手の心を傷つけ、自己中心的な行動が全体の調子をみだすことが多い。人間同志が、おたがいに思いやりをもつて生活する必要がある。愛の精神の一面はこの「思いやり」である。

現代の社会は科学的かつ合理的である。物質文明は高度に発達し、私たちはその中に埋没している。そして最も重要な人間としての心を見失いつつある。人々は豊かな物質にかこまれて享樂的な生活を送り、野の花の消らかさや美しさを忘れていく。

私はいま一度、自分をふりかえり、その生き方を真剣に考えなければならぬと思う。毎日の生活の中で自分自身を厳しくみつめ、他人に対する「思いやり」をふかめていきたいそして日常生活の中で、「思いやり」の気持を失ふことのないように、一日に三省とまでいかなくとも、一度は自分を省りみたいと思う。夜の勉強が終わり、日記をつける時今日一日の反省をしよう。どんな小さな事からでもよい。足もとをみつめ、一つ一つ積み重ねながら、私の人生を充実させていきたい。



「よきあすのために」

三年 佐 迫 裕 之

最近物質的に豊かな生活が続いたせいとか、町に平然とゴミを捨てたり、公共物が無残に破壊されていることが、多くなってきた。これは、自分さえ楽しければそれでよいという利己的な考えを持つ人間が多くなってきたためではないだろうか。

つい先日、映画を見に行った時のことだが、私の席の前に座っていた二十三・四の男の人が、周りの人のことも考えずにたばこを吸っていた。もちろん館内は禁煙である。それにもかかわらず平気でたばこを吸っているその男の人に、私は強い不満を感じ、もし立場が逆だったらその人はどう思うだろうと考えた。よっぽど、「自分のことしか考えない人ですか。」と言ってやりたかった。しかし、言った後のことを考えると残念ながら口から声が出てこなかった。家へ帰って、夜、床にはいった時、昼とは逆に、その男の人よりも自分自身を嫌悪した。なぜその時、思いきって言わなかったんだろう。利己的な人間が多いと思えば、身近な、ささいなこととでさえ、どうすることも出来ずに、ただ不満や怒りを感じている自分を、ひきょうな人間だと思った。

そうだ。このような自分の態度も利己的な考えの表われではないか、という気がしてきた。よく考えてみれば、こんな場合ためらわずに、注意できる人なんて、いないかもしれない、いたとしてもごく少数の体力もあり、心も強い人たちだけだろう。私たち中学生が大人を注意するなんてとてもむりなことなのかもしれない。

しかし、映画館で感じた私の不満は、怒りは正当なものだ

という考えを私は持ちつづけた。というのも、この若い男の人のような利己心をもとになって、社会に大きな問題が生じてきているのだと思うからだ。たとえば、観光地がゴミで汚されてしまったとか、会社の利益を中心に考えたため、自然を破壊してしまったり、その他数多くの公害問題がおこってきているのだ。しかもそれは、短期間で解決する問題ではない。

いづれにせよ、日本国民全員が、自分自分についてふりかえり、もう一度、自分のありかたについて、見直してみる必要があるのではないだろうか。

私達中学生も、公共心とか、正義感を単なる道徳の一面とせず、具体的な生活の場でするよう努めたいと思



第18回読書感想文公募(函館図書館第一分館主催)
入賞作品

「狭き門」を読んで

二年C組 朝 鍋 まり枝

「狭き門から入れ、滅びに至る門は大きくその道はひろい。」これは聖書の一句である。生命に至る道は、いつの世代にもせまい道である。エジプトの奴隷の境涯から解放され、指導者モーゼに率いられたイスラエルの人々が、砂漠で水と食物がなくなつた時、彼らは、指導者をのろい、神を疑つたので神の怒りを受けた。この人間の心理は、たいいていの人々が持つ、人間の弱さである。人間は、弱い人だからこそ、神を必要とし、神に従って行くのだから。だからこそ、自分の罪の悔い改めが必要なのだ。

この小説の主人公アリサは、ジエロームを愛していた。そしてジエロームの求めるものは、地上の愛であり、アリサの求めるものは地上の愛や、幸福でなく、愛の対象を神に求めた。なぜアリサは、神の愛を求めたのだから?。それは、アリサの家庭内においての環境、母親の生き方が、大きく影響をおよぼしているのだから。だからなおさら、清純な愛を求めたのだからと思う。

ジエロームへの愛、そして神への愛。二つの愛の間にはさまれた、アリサの心の苦悩、靈肉のかつとう。それは、アリサ自身どうにもならないものであつたろう。

もう一度、ジエロームのことをふり返つて見よう。はたして、ジエロームは、アリサの気持ちについて、理解していたのだからか。私は、アリサの気持ちを、全く理解してはいない

ように思える。もし、少しでも、理解しているならば、アリサの心の中の苦しみがわかつたのではないだろうか。

愛というものは、エゴイズムなものでありそれに、苦悩を伴つてゐる。そのような、欲望が、アリサの心を、逃したのだと思う。アリサの心は、ますます神の愛の方へかたむいた。でも神の愛をかくとくするためには、「罪の悔い改め」が必要である。これは、他人に代わつてもらへることでもない。一人つきりの孤獨な、しかも、はげしい戦いなのだ。「狭い門から入れ。」とは、まさしくこのことだ。アリサの晩年の時の生き方はまさに、これである。

私達の人間的な生き方をしてゐる人から見れば、何と、もの悲しい一生だつたらう。しかし、私は自分なりの信こうを持つことによつて、アリサの生き方が、わかるような気がする。それは、なぜならば、神の愛、すなわち、全包括的であつて、人種の差別に關係なく、みんなに平等である。私達が神にそむかない限り、神は私達のそばにいてくれる。だからアリサは、ジエロームの愛をしりぞけ神への愛を受け入れたのだから。

この小説を読んで、私が強く感じたことは現代の世の中のように、物質的な欲望を満足させることのみ、力を注ぎ精神的な面をおろそかになつてゐるこの時代に、ジイドの狭き門を読み、改めて相手への思いやり、いつくしみにふれることができて、心がうるおつたような感じがした。私も、このアリサのように、いつも心の中を豊かにして、生きていきたいと思つた。

「あしながおじさん」を読んで

一年D組 飯 淵 泰 子

ジェルーシャリアポットは、ジョンドゲリア孤児院のちよつとふうがわりな女の子。想像力が豊かで独立心にあふれているジェルーシャを、幸福の神様はよつぽど気に入ったとみえました。だって、孤児のジェルーシャを、大学へやってくるという人が現われたのです。その人は、どのだれともわからないおじさん。知っていることといえば、あしのながい評議員で、お金持ちということだけ。

ちよつと不気味だけれど、

「月に一回手紙を書く。」
たったこれだけの条件です。ジェルーシャにとつてすばらしい、いいチャンスでした。

私も、孤児院のりべつ先生と同じ意見で、こんないいチャンスは、二度も三度もくるわけじゃないので、是非、大学にいくべきだと思いました。

大学生になったジェルーシャは、私に、手紙の楽しさを教えてくれました。ジェルーシャの手紙には、楽しい大学生活の様子がいきいきと書かれていて、私の心にまで、その楽しさが伝わってくるようでした。

この手紙の楽しさと、「あしながおじさん」は、いったいだれなのだろうかということに私にひかれてしまい、すっかり、物語にどけこんでいきました。

「わたしは、自分が幸福なことにちよつとも気がついていない人を（たとえばジュリアのような）たくさん知っています。あの人たちは、あんまり幸福になれすぎてしまって、感じがよくなってしまうのです。ところが、わたしは、自分の生活の一分一秒でさえも幸福だということが身にしみてわかっていきますわ。」ある手紙の一節に、こんなことが書か

れていました。

私はジェルーシャがうらやましくなりました。なぜなら、私もジュリアのように、自分が幸福なことに、ちよつとも気がついていなかっただからです。なに不自由なく暮らしてきた今までの生活を、当然のように思っていました。だから、ジェルーシャのように、自分のそばにいる幸福の青い鳥をつかめなかつたのだと思います。でも、今からでもおそくはありませぬ。これからは、自分で自分の幸福をさがそうと思ひました。

ロックウイローでの生活、マックフライド家での生活など、ジェルーシャにとつてうれしいことばかり。でもなんといいても、「あしながおじさん」の正体が気にかかったことでした。

そんなジェルーシャの前に、ジュリアの親類のジャービスリベンデルトンさんが現れました。ジャービスは、ジェルーシャと、それはそれはよく気のあう人でした。だから、ジェルーシャがジャービスちゃんに心をうばわれるのは、当然のことだと思います。それなのに、あの方の結婚の申しこみをお断りしてしまつたジェルーシャ。わけは、「私みたいな、生まれもはつきりしてないものが、ジャービスちゃんのようなりっぱな家からの方と結婚するのは、喜ばしいことだとは思えない。また、おじさんに教育だけさずけていただきたい、卒業したとたん、それを活用させもしないでよそへいつてしまうのはよくないことだ。」というのです。

けれど、おどろいたことが起きたのです。

ジェルーシャは、あしながおじさんがご病気と聞いて、お見舞いに行きました。ところが、ジェルーシャの目の前に現われたおじさんこそ、あのジャービスちゃんだったので、私も、おもいがけないことだったのでびっくりしてしまいました。

その夜 シェルシーは、おしなかまじさんことシービー
ーぼつちゃんに手紙を書きました。私は、この手紙には、今
までにないあたたかさがこめられているように思いました。
それもそのはず、これは、ジェルシーが生まれて初めて書
いたラブレターだったんです。

この物語を読み終って、私はジェルシーの立場になつて
考えてみました。

まず、私は、おじさんへの手紙は、一通か二通くらいでや
めてしまったと思います。ジェルシーに感心しました。だ
つて返事をくれないおじさんに、四年間も手紙を書き続けた
のです。

それから、おじさんが送ったお金を、ジェルシーは送り
返しました。また、もらった分のお金を自分が仕事をして得
たお金を返し、ジュリアとは対照的な質素な生活をしていま
した。私だったら、送り返すことなんかせずに、ほしいもの
を買ったり、貯金したりしたことでしょう。そこが私とジェ
ルシーのちがいでしょ。

これからも、このような夢のある本を、どんどん読みたい
と思います。そしてジェルシーを見習って、楽しい手紙をた
くさん書いて、たくさんの友達を持っていきたいと思ひます。

「クリスマスⅡキャロル」を読んで

一年C組 梁 山 瑞 恵

はじめ私はこの本がたのしい話なのかそれとも悲しい話な
のかよくわからなかった。

でも題目がクリスマス……とつくぐらいなのだからたぶんた
のしい話だろと思つていた。が、一ページめを開いて読んで
見るとすぐ悲しい話だ、ということがわかった。「クリスマ
の天使」ことキャロルは、クリスマスの朝に生まれた病身の
かわいそうな少女だったのである。しかし、この病身な少女

にならなくてよかった。が、読み終わつた今はちがう。十年
な気持ちになつていた。が、読み終わつた今はちがう。十年
目のクリスマス夜の夜に死んだキャロルの生涯は、本当に短い
ものだった。しかし、キャロルは、その十年の間にふつうの
人が五十年かかってもできないようなことをしたのだ。例え
ば、キャロルは気分が悪い時でも不平をいつたりじれたりし
ないでいつもがまん強くにこにこしていたことを、年じゅう
ベットにねたきりの生活の中でも、自分のことを考えず、い
つも、貧しい、不幸な人達のことを考えていた。

この天使のようなキャロルが居るために、バード家の人達が
みんな前よりも、りっぱな人になつたのだと思う。私もこの
キャロルをみならつてしんぼう強くなり、優しい心にならな
ければいけない。

キャロルは、家の中を滑め、明るくし、みんなを幸福にし
たのだから、その短かい生涯は本当にとつとい、意義のある
ものであつたといえるだろう。

私は、この本を読んで、キャロルの天使のような心に感動
し、世界中みんなが、キャロルのような心を持たなければな
らないということ考えさせられた。

「どくとるマンボウ航海記」を読んで

二年B組 沢 田 紀 之

とにかく面白い旅行記である。

どこまでが本場で、どこまでがウソなのか茫洋として見当が
つかない。

日本の文学には、一般に笑いの要素がとほしいといわれて
いるが、この航海記は、日本には数少ない笑いの文学の一つだ
と思う。

どくとるマンボウをのせた船は、春の海のようなのどかな
笑いをふりまきながら、明るい青い空の下をゆつくりとすべ

つてゆく。

この航海記を読んでだれしもが感じるのはそのこにみなぎる少年のようなみずみずしい好奇心、そしてまたいつもはにかんでいるような、作者の表情だと思ふ。

作者は、海を愛し、冒険を愛し、マンガを愛し、昆虫やお魚や、そのほかへんな名まえの島のへんな名まえの神さまについて、無類の博覧強記を示す作家である。

このうちマンガと冒険は、ぼくも好きだが昆虫やお魚となるともはやその足もとにも及ばない。

この作家はまた、非常な照れ屋でもある。彼は何んであれ、生真面目なものの、大言壮語するもの、嚴肅をよそおつたものには、たちまちアレルギー反応を起こすらしい。

たとえば作者はブレース・サンドラルスの詩を引用している。しかし彼は、決して詩人サンドラルスは、かく言えり。というような書きかたをしない。彼はまず、次のような手づきをとる。

「私は今や、広びろとした海の気をあびて大いに嬉しくなり、たちまちにして一つの詩のよなものをひねくりだした。

これは海だ

海というものだ

ああそれは

塩分に満ちている。

さすがに私は、この出来栄えには感服しなかつたので今度はもつと本物の詩を懐懐なまでに美しいブルーズ・サンドラルスの詩の一節を、口の中で呟いてみた。

血だらけのけもの体を、

海辺づたいにひいてゆくのはこのおれだ

作者のはにかみを、物語るこういう工夫はいたるところに見出される。

冒頭の「私はなぜ船に乗つたか」という章もその一例である。

冒険に行きたかつたとか、西洋文化がどうのというような紋切型の説明のかわりに、マダガスカル島のアタオコロイノナという得体の知らない神さまがひっぱり出され作者は、ユ一モラスな韜晦のかげに身をかくすのだ。

つまりこの航海記全体が、巧みな韜晦と、その中に輝くういういしい情熱と、好奇心とによつてつらぬかれておると思ふ。

もう二つ忘れてならないものがある。

一つは、「あとがき」である。

「私は、この本の中で大切なことカンジンなことはすべて省略し、くだらぬこと取るに足ぬこと、書いても書かなくても変わりはないが書かない方がいくらかマシなことだけを書くことにした。」

ぼくは、この「あとがき」が、非常に新鮮なものとして眼にうったことが忘れられない。

もう一つは、作者が航海を試みたときちようど青春の真最中だつたことだ。

青春といつても確かに今のようには、いきいきはつらつとしたものではなかつただろう。

しかし作者は、暗く重くるしいこの時代に必死になつて逆らおうとする。

その中に、若くみなぎる力、青春の美しさ若さの尊さ、があざやかにえがかれている。

「どくとるマンボウ」は、逆説的な方法とのびやかなスタ

イルで、美しい一つの青春を書いた。

笑いきさめく航跡のなかに、青春の純潔とでもいうべきものをうかび出させた。

それがこの、ユーモラスな物語のもつ、もつとも貴重な部分ではないだろうか。

「ニーベルングンの歌」を読んで

二年E組 井村 千佳子

複雑な人間関係のもつれ合い。それが、この「ニーベルングンの歌」によく表わされていると思う。

ドイツ、ブルグント国のウォルムス城にて。

不死身の英雄王子といわれたジグフリートと、世界一の美女であるクリムヒルト姫とは、会う前から互いに心をひかれていた。始めは、ジグフリートに敵意をいだいていたクリムヒルトの兄、グンテル王も、彼に二度助けてもらったアイスランドの美女で怪力の女王、ブルンヒルトを彼の力さえで、妻にすることができたとあつては、もう敵意どころではない。二人の間には、固い友情が芽ばえていた。ジグフリートも、クリムヒルトを妻にすることができた。しかしブルンヒルトは、グンテル王なんかより、ジグフリートに思いを寄せていたのだ。しかも、彼女は、クリムヒルトと争いをしたので、くやくしてならない。そこで、グンテル王や、悪い家臣ハーゲンと共に、ジグフリートの暗殺をくわだて、みごとに成功した。夫を殺され、形見の「ニーベルングンの宝」まで奪い取られたクリムヒルトは復讐の鬼となり、大規模な軍事力を持つ、ハンガリーの国王エッチェルの所へ嫁いでゆく。やがてウォルムス城の者を招き、飛びかう戦いの火、クリムヒルトは、ウォルムス城の者たちを皆殺しにしたが、見るに見かねたエッチェル王の家来のヒルデブランドによつて命を断たれてしまうのだ。

この話を読んで、感じたことは、クリムヒルトは、美しいながらも、たいへん気丈の激しい、みえつぱりな人だということだ。養理の姉、ブルンヒルトといふ争いをして、はり合う所など、よほど気が強くないと、できないし、ウォルムス城の者をハンガリーに招いた時も、暗殺団を作り、屋敷に火をつけた上、三回も、軍隊を向かわせたなんて、普通の人には、とてもまねできないと思う。それも、夫のかたきをうつことばかりを考えていたからだろうが……。しかし、もし私が、クリムヒルトだったら、どうしていたらう。

ハーゲンと、兄に裏切られ、夫を殺され、「ニーベルングンの宝」を奪われた上に、エッチェル王との子ども、オルトリープまで、殺されたとあつては、執念深く復讐しようとするのも無理ないと思う。だが、強く、勇気があつて、優しいジグフリートが、死んだ所は、たいへんかわいそうだった。ブルンヒルトも、勝ち気だが、案外かわいそうな運命の人なのかもしれない。好きでもないグンテル王と結婚しなければならぬのに、自分と王をくつつけた、ジグフリートにひかれてしまったのだから――。

けれど、ブルンヒルトとクリムヒルトが、つまらないみえで争いをし、ジグフリートの秘密がばれなかつたら、運命は、全く違ったものになつていただろう。ジグフリートは、暗殺されないのですんだらうし、ブルンヒルトは、自殺しないですんだらう。クリムヒルトは、復讐の鬼にならなかつたし、ウォルムス城やハンガリーの人々も犠牲にならなかつたと思う。なぜ、彼らはあんなにまでも、人間感情の一番醜い部分をむき出しにして、戦つたのだらう。忠実な市民はいつも彼らの味方だつたのに。忠実な市民は、彼らをいつも暖かい目で、見守つていたのに……。

だが、一番腹の立つのは、グンテル王と、ハーゲンだ。グンテル王は、ジグフリート暗殺のことも、すべてハーゲン

に任せていたし、「ニーベルンゲンの宝」を奪う時も、ハーゲンと二人で欲を出し過ぎたから、宝箱の鍵を、ライン川の川底に沈めてしまわなければならないはめになったのだらう。大胆不敵なハーゲンが、クリムヒルトに、「ジグフリートを殺したのは私は私だが、宝のありかは、一生だれにもわからないでしょうよ。」などと、面と何かつて言っている所は、本当に憎らしいと思つた。

ただ、すばらしい「ニーベルンゲンの宝」のありかが、一生だれにもわからないのは、少し惜しいような気がする。

最後の「ブルグント国の人々は、今日も、ライン川の赤い夕陽をながめて、運命の恐ろしさに、嘆き悲しむばかりだつた。」という悲しい場面は、私の心に強く残つた。

「不惜身命」を読んで

三年A組 川辺 公仁子

主君の為ならば命を惜しまない。それが、彼、十蔵の信条だつた。彼は、その信条のもとに一途に生きてきたのだつた。しかし、彼の若さとこの一途さが交り合つと、他人には、無鉄砲なでしゃばり者と誤解されがちで、主君秀忠も、この男には、時には立腹し、時にはあきれかゝっていた。

しかし、彼の態度に変化があらわれた。彼は、そり返つた態度で、世の中を、大股に、地響きをたてて歩き始めた。その原因は、世に名高い槍の達人と、彼が互角に戦つたことにより、彼の評判がすばらしいものとなつたことだつた。この時一老人から送られてきた「不惜身命」と書いたさし物により、ますます彼の慢心が刺激されたようだ。彼は、この四文字に、今まで自分が心に秘めていた信条が、端的に表現されていると思つたに違いない。しかし、以前彼がそうだつたように命も惜しまず主君に尽すということ、命も惜しまぬ大

胆不敵な態度をとるということとは、まったく違ふ。それなのに、「不惜身命」の四文字を目にした瞬間から、十蔵は、命を惜しまぬということだけにとらわれ、その目的など忘れてしまつたのだ。十蔵は「不惜身命」の言葉に負けたのだ。

それを十蔵に諭したのは、やはり世に名高い武士、柳生又右衛門だつた。心ある武士は不惜身命でなくてはならぬ。しかし、真の勇者はもつと命を惜しむものである。平常命を惜しんでいてこそ、一大事の時はじめて不惜身命の働きができるのだ。―又右衛門の言葉に、十蔵は己れの未熟さをかみしめて立ち去り、それからは別人のようになって惜身命に努めた。

命を惜しまぬためには、豪胆さが要求されるだけに、不惜身命の働きとは派手に見るものなのだろう。それに比べると、まったく地味な、一見弱そうな、それだけに実行しにくい惜身命。その惜身命に通ずる、先を見越した行為こそ、私達の生活を支える、本当に大事なものではないか、と私は思わずにはいられなかつた。

やがて家光の世になり、惜身命の心構えのおかげで、十蔵は目付け役に出世していた。この年、九州で島原の乱が起き、板倉内膳と彼とに追討の命令がだされた。切支丹相手の城攻めは容易ではなく、ついに彼らは兵糧攻めに踏み切らざるを得なかつた。その時江戸より、新たに上使を遣わすという奉書が届いた。それは、二人のやり方を非難しているようなものだつた。

十蔵はくやしさに涙がこみあげ、城を攻め落とすか、討ち死にするか、今こそ不惜身命の時だと考えた。内膳とて思ひは同じであつた。しかし、「そのもとはまた軽はずみをするのか。」という声が、どこからともなく十蔵に聞こえてきた。城攻めである以上、大勢の血を流さねばならないのだ。それと思うと彼はうなだれてしまつた。不惜身命の華々しさの向

こうにある惜身命。それは、自分の命ではなく、多くの人々の命を惜しむことなのではないかと、十蔵は考えたのだから。

城攻めをさかんにと見える内膳の前で、十蔵は黙ったままだった。おそらく彼は内膳と組み打ちでもしているような思いでいたに違いない。それは同時に、彼の心の中での、惜身命と惜身命との戦いでもあっただろう。長く冷たい時の中で十蔵はたえ続けた。突如、十蔵の息づかいが乱れ涙がこぼれた。彼は城攻めに同意した。ついに、彼は惜身命になりきることができなかつたのである。

十蔵が、初めて「不惜身命」のさし物をさして挑んだこの戦いは、内膳の死をもつて、慘憺たる結果に終わった。とうぜん切腹すると思われた彼は、新しい上使のもとでよく働き、城は兵糧攻めにより落とされた。

おそらく、この時再び彼の胸に落ち着きと惜身命の念が訪ずれたのだろう。

江戸に帰った十蔵は、己れに厳しくつとめ、あの城攻めの際死傷した人々の名を書き留めることに専念した。書きながら彼は思っていた。あの時、内膳に対してもう少しがんばってさえいたら、と。そして、人間、命を捨てることは案外やうてのけられるものだが、それをぐつと押えて、大きくひとひねりさせることはひどくむずかしいものだ、と。

しかし私は思うのだ。あの城攻めに失敗してからの彼の態度こそ、真の惜身命なのだ。城攻め失敗の責任を、切腹という形ではなく、最も流血の少ない方法で城を落とすというこゝとで償った十蔵。あの失敗のもとに、彼は真の勇者になれたのだ。

おそらく、彼は二度と「不惜身命」のさし物をおかけるとはなかつただろう。

「孤児マリー」を読んで

三年C組 水 沢 珠 江

この小説の筆者、マルグリット・オードウは、貧しい女裁縫師でした。そのうえに、彼女は、眼疾に冒されて、針仕事をすることを禁止されてしまいました。その頃から彼女は、小説を書くことを、覚え始めたのです。

彼女は、眼疾に冒されて、小説を書くことしかできない孤独な生活を送りました。そして、この小説の主人公、マリーも、母を亡くし、父にも置き去りにされて、育兒院で孤獨な生活を送った少女なのです。彼女は、自分の生き方をマリーに例え、自分の夢想をも、マリーに託して、この小説を彼女は書きました。

自分のかなわぬ夢想を、マリーに託して小説を書く彼女の心境は、私には、素直に理解することができません。何故ならば、私が彼女と同じ立場であつたならば、自分のかなわぬ夢想を小説の主人公に託して書くことはかえって自分自身を哀れで惨めに感ずること、思うからです。自分を哀れだと感ずることほど、悲しいことはないと思います。

この主人公、マリーは、六歳の時に母を肺病で亡くし父親はショックで行方不明になり、マリーとマリーの姉は二人きりで置き去りにされてしまいました。しかも、姉とも育兒院に預けられる時に、離れ離れになってしまいました。マリーは、一瞬の間に三人の家族を失ない、たった一人きりで知らない世界に取り残されたのです。

もしも、今私が、マリーと同じ立場にあつたら、三人の家族を失なつた悲しみと、自分一人ではなにもできないという情けなさなどで気持ちが動転してしまい、家族の後を追うと思います。マリーは、まだ幼なかつたので、家族を失なつたことさえもはつきり分からなかつたことが、マリーにとつては

唯一の救いだったと思います。

マリイは、心の優しい少女に成長しました足の不自由なコレットという少年を立ち直らせようと努力したのです。しかし、その努力のいかにもなくマリイは羊飼いとして農園に雇われたのです。農園での始めの生活はやはり孤独でした。しかし、時が経つにつれてマリイに友達ができ始めました。幸福な日々が過ぎて行きました。でも、その幸福もつかの間のことで、友達と別れなければなりませんでした。

マリイは、また、孤独な生活を送り始めました。私は、その時のマリイは、自分の話を聞いてもらえる人がかたわらに居てほしいと願ったに相違ないと思います。

マリイは、人に裏切られながらも孤独に、耐えて生活して来たのです。が、マリイは、心の奥底から信じていた人に裏切られ、育児院のシスターに会いたいという願いのためだけに、育児院へ続く雪の小道を一人で歩き続けました。育児院でマリイを待ち受けていたものは、炊事当番という難儀な仕事でした。

時間が刻一刻過ぎて行きました。ある日突然、マリイに、予期せぬ出来事が訪れました。マリイは、四十フランを手にして、育児院を出て行くことを許されたのです。外に出るとそこには、十二年前に離れ離れになったマリイの姉が、立ち尽くしていました。しかし、姉はマリイを引き取る意志がないことを、それとなく告げるのでした。マリイは、パリへ向かう汽車に乗り込みました。汽笛が大きな叫び声のように長く鳴り渡りました。

この小説は、これで終わっています。

この最後の場面の姉の言動は、私には姉の二つの気持ちを感じられました。姉を思うからこそ、妹を自分の嫁いだ農夫の家へ連れて行って不自由な思いをさせるよりも、初めて妹

が手にした自由を、思いのままに楽しませてあげようとした気持ちと、もう一つは、自分の今の生活を、妹に破壊された一つ一つが、もしも、私が今隣りにいる妹と、十二年間一度も会わずに生活したとしたら、私と妹も、このようなもどかしい会話を、交わすかもしれないと思うと何か笑いたくなくないが、私、この小説を読み終えて一番強く感じたことは、両親がいて妹がいて平凡でも家族の優しい愛情に恵まれて生活している私は幸福なんだなと思いました。

人間が、幸福に生活していくには、どんなに貧しい生活を送っていても、決して変わることはない、同じ人間の優しい愛情が必要だと、私は身にしみて感じました。

私は、私が大人になっても人間の優しい愛情が保ち続けられていることを願います。そして、今、世界中の人間が一人残らず優しい愛情をいつも心に抱いて、接してあげてほしいと思います。

今、私達が、そのような人達に優しい愛情を持って、接してあげたならば今後、私達が、同じ立場になった時に、きっと私達が接してあげたと同じように他人に接してもらえると、思うからです。

「あすなる物語」を読んで

三年E組 村上利香

今まで、「しろばんば」や「幼き日のこと」で親しんできたこの作者の「あすなる物語」を読んで深く感動させられた。十三才の梶鮎太を主人公にして始まるこの作品だが、文章全体がとても静かで詩情あふれるタッチで描かれている。

たとえば、天城山中の深い雪の中のできごとや春の夜の不思議な狐火の風景はなんと絵画的に、かつ神秘的に表現されていて読者に詩的感情を与える源となっているように思わ

れる。

さて、この作品の題にもなっている「あすなろ」だが、それは、あすはひのきになろうあすはひのきになろうと念願しながらついにひのきになれない木のことである。作者は鮎太をこのあすなろにたとえて人生のむなしさを託しているのではないかと思われる。

それでは、鮎太にとつて「あすなろ」とは一体何だったのであらう。鮎太の成長していく過程からそれを探り取ってみることにする。

少年時代、それまでとびきりの秀才であった鮎太が世間にはもつと秀れた人間がいるということがわかり、自分の中の「あすなろ」を意識し始める。いろいろな体験をしていくうちに自分を「あすなろ」だと決めこんでしまい、学友からの疎外感はいだいに深まっていき、自分は虚無感と劣等感に陥ってしまつて行く。

また、新聞記者時代では自分と同じような「あすなろ」たちがうようよよしていた。彼らもまた、「明日は特ダネを取ろう。明日を信じよう。」としていながらも、その行動にはどこかむなし虚無感を漂わせていた。

この鮎太の成長過程において共通することは、「あすなろ」というものがなんととも言えずむなしものであるということだ。自分自身の向上と発展を望みながらも、ついにはその願望を果せないという、ほんとうになんともむなし人生の現れではないか。しかし私は、鮎太や新聞記者の「あすなろ」たちの姿に真の人間というものを見たような気がする。

いくらひのきになれなくても、明日を信じ、明日は何ものかになろうという「あすなろ」たち。

彼らは、明日を捨ててしまっている人間たちや、明日の自分の名譽ある地位を確信できる人間たちよりどれほど人間的な人間たちであらうか。

むなしさの中にともるかすかな希望の光が明日へのかけ橋となつてゐる。それを信じ、きびしい人生の中で一生懸命に生きようとしてゐる彼らの姿に私は深い共感を覚えた。

今の世の中を考えると、このような「あすなろ」たちはだんだん姿を消していくように思われる。明日などは信じなくても安心して生活していける。このような考えの人間が増えているように思われてならない。

必ずしも「あすなろ」になることがいいことであるとはいきれないと私は思う。

しかし、これからの社会にはすぐれた人間性が必要である。だれもが人間味のある社会生活を望んでいることであらう。

それにはやはり「あすなろ」が必要であらう。人間の不思議な情熱の象徴ともいえる「あすなろ」が――。



父の日・母の日記念作品

第四回 父の日・母の日記念

感想文・詩公募(函館図書館第一分館主催)

詩の部入賞作品

母の生命線

二年E組 加賀 多佳子

私は母の手相を見た
ふと気付いたことがある
「あれ?これが生命線か。」
なんとビックリ
生命線が極端に短いのだ。
一瞬私の生命線と比べたのだ。
私の線は母の線とは
比べものにならないくらい
長かった
私は
ホット肩で息をした
でも
母の線は

ほんの少しだ
うらないは信じたくない
だって

母には長生きしてもらいたいもの
私一人の考えで
母の命を短くするなんて
できるはずない

でもでも

私のおこないで

半信半疑さえなるかもしれない

私は心が波だった

母に心配かけた

お手伝いをしなかつたりしたら

母はつかれることだろうな

よし!

私は

母の生命線になろうと。



修学旅行の思い出



5月16日(金)

- 8:00 三王閣
- 11:30 大船渡グランドホテル着
昼食
- 14:30 平泉中尊寺着<写真>見学
- 16:30 同発
- 18:30 花巻温泉着<水松園>
- 19:30 鹿踊りをみる

5月14日(木)

- 7:10 函館発
- 11:00 青森着・バス乗車
- 12:10 菅野高原着・茶屋
- 13:10 菅野高原発
八甲田連峰・奥入瀬溪流
- 14:30 十和田湖子の口着
- 17:00 三沢古牧温泉着
- 19:00 館内博作館・見学

5月17日(土)

- 8:00 水松園発
- 11:30 北福岡馬仙峽着・昼食
- 12:20 同発
- 16:20 青森着
- 17:00 乗船 青森発
- 20:50 函館着
- 21:00 解散

5月15日(水)

- 8:00 古牧温泉発
- 12:10 竜泉洞着・昼食・見学
- 13:40 竜泉洞発
- 15:10 浄土ヶ浜着<写真>
- 16:00 浄土ヶ浜発・船で
- 16:45 田老着
- 17:00 三王閣着
- 19:00 ディスカッション
作文・短歌・俳句・詩

50年修学旅行日程

修学旅行の記録

三年B組 桃井 忍

二日目、私達は午前八時に古牧温泉を出発し、竜泉洞のある岩泉へと向かった。

三時間もバスにゆられたが、窓の外美しい海や岩などは、私達に眠るひまなどあたえなかった。

途中少し山に入ると、そこには期待していた竜泉洞が待っていた。

岩手県の北上地には大きな洞穴がある。

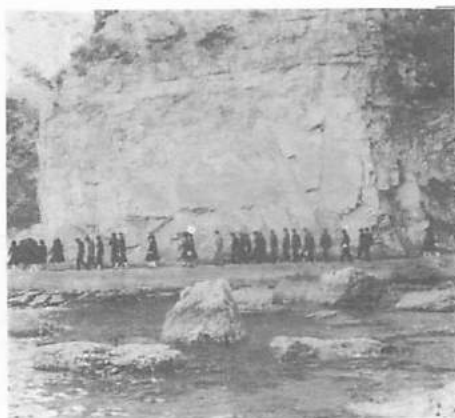
それが竜泉洞である。私はその日初めて竜泉洞を見たのだが、その大きさは想像していたのよりもはるかに大きかった。

そしてすばらしかった。

入口から入ると、そこはせまい通路になつていた。その通路は幅一メートルぐらいで、複雑な形をしているごつごつした岩で、両サイド、天井などを覆われていた。天井のところどころにライトが設置してあったが、足元がでこぼこなので歩きにくい。そしてしずくがぼたりぼたりと落ちてくる。両側の岩壁を手のひらですつとさわってみたら、すごく冷たく、心までがひやつとした。

五十メートルくらい先へ進んだとき、私たちの先を歩いていた女生徒が、キヤーと悲鳴をあげた。その瞬間誰かが、

「こうもりだ!」



とさげんだ。見ると天井のずつと高いところを一羽のあまり大きくないこうもりが、パタパタと飛んでいった。それはほとんど岩壁と同じ薄い茶色していたのではつきり見えなかったが、生れて初めて生きているこうもりを見たので恐ろしさよりも好奇心の方が先に心の中を走った。そして目を四方八方に向けて捜したけれど、今回はそれ一匹しか見れなかった。そのこうもりは天然記念物に指定されているウサギコウモリという種類だそう

だ。さらに先を行くと深い断崖で、のぞき込むと十メートルあまりの水底が見える。池の岸は切り立っていて、竜泉洞の水

はこの底から湧いているらしい。水の色は青で深いところほど濃く見える。でも浅いところではほとんど無色である。

途中流れのある川のようなところに橋がかけられている。

橋を渡るのはあまりこわくはなかったが、川沿いに歩くのはこわかった。青い流れに吸い込まれそうになるからだ。

特に中ごろを通過した時、深さ八十メートル以上のところが二カ所あった。

いくら透明な水だといつても底は到底見えない。ただ深い青色と、静かで、死んでいるような感じから、ああ、深いなあとわかるのである。

その深いところを通つたすぐあとに、ジグザグにいくつも階段が続いているところがあつた。その階段には、

「気分の悪い方や、心臓の弱い方は、御遠慮ください。」

と書いた立て札があつた。私は友達と相談したが、登ってみることにした。いったいどのくらい登つたであろう。百段は軽く登つたにちがいない。登つても登つても次々に別の階段が現れ、永久に続くのではないかと思つた。

一歩はずすと、深い水の中にまっさかさまに落ちるのだ。足がガクガクしてきた。一番高い所について、さて下を見ようとしたが全然見られない。壁が曲りく

ねっていて、一直線になってはいないホールだからだ。せつかく登ってきたのにとくやんだら、そばにいた旅行者が、

「これは、登って来る途中の壁のようすを見るための階段なんじゃないかなあ。」と言った。なるほどと思ったが、私は途中、恐怖のあまり足元ばかり見ている、壁など見る余裕がなかったのだ。十載遇の機会をのがしてしまったのだ。今でも残念でたまらない。

あと階段を降りると、出口までは平凡な通路である。いや目が慣れてしまっても感じなかったのかもしれない。

日本の三大鍾乳洞の一つ、竜泉洞、鍾乳石は一センチ伸びるのに約五十年かかるという。

千変万化な鍾入石、石柱、石のカーテン、石筍なども、深い水とともに、再び来る私をそっくりそのままの形で待っていることだろう。

永久の美・神秘の世界、竜泉洞。

修学旅行の夜

三年D組 倭 晶 子

楽しい一日の旅行が終わわり、いよいよ私たちは旅館に着いた。

その日は、修学旅行に出発して一日目の、5月14日だった。旅館は「ホテル」と名のつくような、大きなところだった。私たちの泊まる部屋は、そんなにすばら



しくもなかったが、ここで初めて友達と過ごせると思うと、とてもすてきな部屋に感じられた。

私たちが、修学旅行で最も期待していたのは例によって旅館で眠る時ではなかったかと思う。私も、友達いろいろおもしろい習性が発見できるのではないかという、悪質なことを考えていた。

ホテルでは、時はあつというまに過ぎて、食事と入浴の後、他の部屋に行ったりして遊んでいるとすぐ就寝時刻になった。

みんな、まじめに眠ろうと思ったのだが、私たちは、かわった環境への適応性がないうまく、なかなか眠れなかった。

なにしろ、いやに蒸し暑い上、すぐそばで汽車がひんぱんに通り、真上の部屋では地震のようなさわぎなのだから眠るのが非常にむずかしいのだ。

そのうちに、私たちは、眠ろうとする努力もすてて雑談をし始めた。中には眠ろうとする人もいたが、その人は他の人々の尊い犠牲とならせて、みんな無理に話に引き込んだ。

あとで考えてみると、この一日目の夜が、修学旅行の中で一番、友達と心を通わせられた時だったと思う。

二三人で集まって話していると、ふだ学校にいる時には一度も口にしたことになかったようなことが、どんどん話題になる。みんな自分の希望や悩みを、かくさずに話し合っているのだ。言い方はかなりばかばかしくて、いつもよりおかしいくらいだけれども、話していることは大切なことばかりだったと思う。

私は、この夜の雑談によって、ふだんだぶざけているような友達との心の中にしまっている、いろいろな気持ちや考えが、少しわかったように思う。

いつもは言わないけれど、親しくつき合っている友達にも私の知らない悩みや夢があったのだ。みんな、それぞれの考え方を持っているというのにはあたりまえのことだが、それを改めてはつきりと知ることができたのは、大事なことだと思

う。

やはり、夜暗い所で寝ていると、たくさんの方が考えられてきて、私はそういうことを、だれかそばに友達がいると話したくなつてくるが、他の人もそうなのだろうか。

修学旅行は、友人同志の結びつきが深まる場として最高だ。その中でも私は、夜寝てから話すことがいちばん、友情を深めるのに大切だと思う。実際に私は、友達についていろいろわかつたので、これからも、その人自身の気持ちや考えを大切にしたいと思つている。

就寝時刻九時三十分から、もうX時間もたつていた。規則を守らないのは悪いことだが、とても楽しい時間だつた。

それまで、夢中で話していた友達も疲れたらしく、

「もうそろそろ眠ろうか。明日もずっとバスだから、眠らないと酔うよ。」と、言つて目を閉じた。

私もそう思つたが、眠れないので、羊の数でも数えようとした。五、六匹数えた時に、また、汽車が通つていった。けれども前のようにその音も気にならなかつた。その時はもう、眠りかけていたのだらう。

「修学旅行」

三年A組 松岡悦子

あと何日かと数えていた修学旅行。胸はずませとても待ち遠しかった修学旅行。「その修学旅行も、もう終わつてしまいましたが強く印象に残つてゐることを一度頭に思い浮べながら書いてみたいと思ひます。

一日目で一番印象的だつたものは、たくさんの方や奥入瀬けい流などの水の美しい流れなどです。でも見学してゐるときは、修学旅行に來ているという実感がわかず、まるで夢でも見ているようでした。でも夜、寝る時になんとなんとく実感がわいてきました。

二日目のバスの中は、前の日の夜ちよつとさわいませいか、とても眠かつたんですが、童泉洞につきその中へ入つたとたん目がさめまして。童泉洞の中の水はとても澄んでいて今にもすいこまれそうでした。浅い所でさえそんな感じがしてゐたのに、水深98Mの所へ着いた私はもう足が「ガタガタ」でした。そして少ししてから階段を上へ上へと数分間歩い

出に残し浄土が浜へと向いました。そんな、こわい思い出の中に、水の色の美しさを思い出に残し浄土が浜へと向いました。そこで写真を取つたり少しの時間だけ海辺で楽しく過ごしました。そして遊ん人船に乗り海ねこに、えづけをしました。その楽しさと岩の自然の中の美しさをまた思い出の一つとして今度は

旅館へと向つたのです。旅館は、ちよつと変わった造りでした。

三日目は、いよいよ中尊寺、そこで印象的だつたものは、やはり光堂です。鎌倉時代の木材などもあり、いろんな面でも勉強になりました。見学後少し時間があつたので、おみやげを買つたりしました。今日でみんなといつしよに旅館に泊まるのも終りだと思つとちよつぱり残念に思ひました。

いよいよ今日は帰る日。私は午前中バスの中でずっと眠つていましたが、午後からは、みんなとおしゃべりをして最後に残された時間を楽しく過しました。そんな時間は、本当にあつと言うまにすんでしまひ、連絡船に乗る時間がきてしまつた。

私たちは、連絡船に乗り、函館へと向つたのです。連絡船に乗つてももなく安心したのか、なんだか疲れが一度にでたようでした。

でも、私にとつては、とても楽しく良い修学旅行でした。

以上のが私の思い出や、実際に経験したことです。まだ他にあるような気がするのですが強く印象に残つたのは、やはり一日目、二日目、三日目のような気がします。本当に楽しい修学旅行でした。

「雜感」

毛間内 茂 一

己に克つて人に受くべし

八反田

稔

卒業生諸君おめでとう。卒業を機会にこれからの未来において大事だと思ふ「自主」「協調」ということについて考えてみることにする。私は日常これらの言葉が安易に使われているような気がしてなりません。自主性は自分が主人公だということ、自分と船の船長は自分だということである。学習を自主的にやるというように、自分のやる事柄や行う場が決まっても、さまよえる自主性ではない。自主性という船は、自己中心であるのが当然であるが、他の迷惑害毒を考えない自分本位に走っては困る。また、的確は状況判断に基づく責任遂行が伴うべきで、このことが欠如されては、真の自主性とはいえないと思う。このように考えてみると、真の自主性は「他に依存することなく、自己の正しい自由意思によつて主体的に思考し決断し他の保護干渉を受けず独立的に行動し、自分にかかわることは自分で処理するとともに、社会現実をそいつつ、みんなの幸福に貢献できるような努力することである。このように考えてみると思ふ。真の自主性は、ただ自己を主張することだけではないと思う。したがつて、自主性がさまよえる自主性となつて、方向や程度を誤ると、その自主性の伸長は敬遠あるいは迷惑視されて、ここで協調性が要求されるのではないと思う。自主性は協調性と調和が保たれねばならない。

卒業生諸君「真に自主的協調的人間」として、若さと持てるエネルギーを十分發揮して限りなく前進されることを期待します。

人間は、はかり知れない可能性を持つものであるとよく言われています。しかし、誰も自分がどれだけの可能性を持つているのか、気づいていないのです。だからこそ、その秘められて可能性を開発するために研鑽努力をしなければならぬのだと思います。無論その途中でいろいろな事があるでしょう。得意の時もあれば失意の時も。事が順調に運んでいるときはよいのですが逆境にたつともすれば挫けがちになるものです。そういう時の自分を奮いたたせるのはやはり自分しかないという事を肝に銘じて欲しいのです。

そもそも人間は誰しも幸福を追求するものですが無論そうあつて然るべきです。しかし、個人のそれは人間社会全体に繋がつて始つて真の幸福と言えるのではないのでしょうか。それは人間が社会の枠の中に居て生きているのですから。個の事を考えることは同時に全体のためということを前提にして考えなければならぬと思います。そこに自分本位に物事を考えてはならない原則があるのです。そしてそれが人間としての使命感の原点になるのではないのでしょうか。知識は無論心要欠くべからざるものです。しかし、それを知的文化と言えばそのみがおールマイテイではありません。否、知的文化以上に大切なものがあります。それは精神文化です。知識のみが先行すれば我が強くなりそれは個の力の過信に繋がると思ひます。全体の力に比べ比の力など、一時的に左右させることはあつても、極的には遠く及ばないものです。

「己に克つて人に受くべし」私自身この言葉の意味をよく理解できておりません。皆さんもこの言葉の意味を理解すべく励んで欲しいと思つています。皆さんの今後の健斗を祈り大

いなる期待を持って餞の言葉とします。

集団と個人

佐々木 雄 幸

私達が生活を共にしている人達の中には、実にさまざまな特長をもった人々がみられる、楽天的で物事にこだわらずあつさり割り切つて考える人、自分に都合のよいことのみを主張する人、自分の言動や行動を批判されるといつまでも深刻にそれを考え込む人、常に真正面から物事、問題を受けとめて、じっくり考え判断しようとする人など例を挙げていくと教え切れない人々がみられる。ところが、このような人の集つて作つている集団とが、このような人の集つて作つている集団として全体をみても、個々人の特長は特長としてあるけれども、集団全体としては実にまろやかな調和のとれた集団としてみえる。これは人間のもつ知性と合理性、感情がやはり一定のレベルをもつことにもよるが、さらには集団のもつ相互同化作用によるもので考えられる。つまりある人のもつマイナス面が他の人々のプラス面により自制するよう到自己改造を要求されていくからである。ところがこの集団のもっている好ましい機能である相互同化作用が強烈な影響力をもつてしまった時には、逆にそれは個々人のもつ特長を殺すことになりかねない。科学的な面での真理の主張も時には真理としては存在を汗されぬ集団となつてしまう例を歴史の中で数多くみつけられずことができる。ではどんな場合、こうした強烈な相互同化作用が出てくるか考えてみると、多くの場合には対立するものを許すことのできない。又批判することを認容できない個人が地位と権力を獲得する時であり、集団構成員に自己逃避を好む人が多く存在する時である。我々はどんな集団に属していても、常にイエスマン

であつてはならない。対立と批判をおそれない力をいつも持つことが個々人の必要条件であらう。

青春とは

泉 良 子

中学、高校、大学といわゆる学生時代が、青春の一頁とすれば、もう青春の何分の一かを過したことになる。青春という躍動する輝やかしい日々をどのように生きるか、人生のもつとも貴重な時間を意義のあるものにするか、否かこれはひとりひとりの価値観が評価することであらう。青春は各人の価値観を形成する過程なのか。はたまた、試行錯誤の中で生きざまを手ざぐりし、事象を昇華していく人生そのもののミニチュアなのか。価値観、人生観と形成する一過程が青春だとするなら、奈辺にアプローチしていくこととなるのか。人生そのもののミニチュアとするなら、もう君たちは、個人的人格で、いさぎよく生きるより仕方あるまい。自分ばかり生きたい、かくありたいと思う中で、自分自身の将来をシミュレートして、確固とした信念をもつことこそもつとも肝要な、そして緊急な、君たちの課題だと思つてどうだろうか。!

卒業

おめでとう



甘ったれるな!

島 貫 讓

「命かけて生きろ。」私はこのことばをいやというほどか
つて尊敬する教師から教えられた。

生きていることはだれでもできる。けれどそれに命をかける若い連中が少なくなってきたのは事実である。ある教え子はこう私に言った。「命かけるものなぞ今の時代にあるわけがない。だから適当にやつてその日その日だけに充実感があればよい。」……と。

たしかに今の時代にはそのような空しさがある。あるからこそ命かけるものを自分から求めるべきである。与えられるのを待っているのなら犬にでもできる。「甘ったれず、命かけるものを持って!」……私は私のかつての恩師から言われたこのことばを君たちに同じように叫びたい。

たしかに心豊かな時代ではないことは事実である。教師とよばれて約三十年、私自身ぶつと心の中に空しさが吹きぬけることもある。いくら物質的に豊かな時代でも人と人との心の暖かい交流が欠けると、そこに残るものはなんだろうか。

命かけるものがあつて真剣に話合いができ、命かけるものがあつて人の本当の心を知ることができ、命かけるものがあつてはじめて道ばたの名もない草花にも目をむける余裕ができるはずである。

人の一生は生と死の交わりであり、いつかは死を考える年令を君たちはむかえるだろう。それまでの間に自分なりの歴史を持ってほしい。……自分の子供に私は真剣に生きたいと話しあえる歴史を……。

他力本願の甘ったれどもよ、全員が自力で必ず立つ日を楽しみに待っている。その時もし生あるなら杯をかたむけ、心

から五稜時代を話し合おうでないか。

卒業生の皆さんへ

深 栖 久 佳

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

みなさんは今、大きな夢と希望に胸をふくらませていること
と思います。

先日の生徒会のアンケートの「教育とは」という間に、か
んたんに短かくかいてくださいという注文でしたので、「長
つづきすること。」と書きました。

最近よく耳にすることばに生涯教育ということばがありま
すが、教育とはまさに一生を通じて成しとげられるものだ
と思います。その基礎となるのが義務教育の九カ年であつて
今、それを終えた皆さんにとつてこれからが本当に大切だと
思います。

現在の私たちをつつむ世の中を見廻すと、いろいろな面で
大きな変化をみせています。そして更にその勢いを増してい
くと思いますが、今、皆さんが胸に抱いている夢や希望を、
一歩一歩着実に積みあげ、途中でくじけることなく長つづき
させてほしいと思います。

そのためにも、くれぐれも体を健康に、そして、強く、た
くましく、美しく自己をみがいていってください。
大いに期待しています。

The Daffodils

—William Wordsworth—

I wander'd lonely as a cloud
That floats on high o'er vales and hills,
When all at once I saw a crowd,
A host of golden daffodils,
Beside the lake, beneath the trees,
Fluttering and dancing in the breeze.
Continuous as the stars that shine
And twinkle on the milky way,
They stretch'd in never ending line
Along the margin of a bay:
Ten thousand saw I at a glance
Tossing their heads in sprightly dance.
The waves beside them danced, but they
Out-did the sparkling wave in glee :—
A poet could not but be gay
In such a jocund company !
I gazed—and gazed—but little thought
What wealth the show to me had brought ;
For oft, when on my couch lie
In vacant or in pensive mood,
They flash upon that inward eye
Which is the bliss of solitude ;
And then my heart with pleasure fills,
And dances with the daffodils.

水仙花

野山を越ゆる雲のごと
一人わびしきさまよいに
ふと行きあいし水仙の
黄金の色にむらがる
糊辺に沿うて樹のもとに
舞いつ、躍りつ、そよ風に。
天の河原にまたたきて
煌きわたる星かとも
入江づたいにはてしなく
眼路はろぼろほほ笑みぬ
楽しく躍る幾千の
一目にうつる花かずら。
かたえにさざめく波よりも
よろこびまされる水仙花
かかる嬉しき友を得て
胸躍らせぬ詩人も
さわれあかずに見し花の
賜える恵を知らざりき。
そはふしどにてうれわしく
またうつろなるこの胸に
げに独居のめぐみとも
黄金の花のひらめきて
心愉悦に充ちたらい
花と躍れるいくそたび。



プ ロ フ ィ ー ル

世に言う、中三生の孤独とか、教師と生徒間の溝などというものは、まったく感じられなかった我が三年A組である。悩める者や、困り果てている者に対して担任の佐々木先生は親身に相談ののつて下さった。(注・真剣味皆無の者には、一喝あるのみ)可能なかぎり先生を手こずらせた我々を二年も面倒を見て下さった、その忍耐力にはひたすら敬服するのみだ。……やはり年輪の違いだらうか？

我ら繊細な心の持ち主40名はというと――僕は、皆の神経繊維は洗濯機の排水ホースでできているとばかり思っていたが――毎日毎時間、ひたすら趣向をこらして、教科担当の先生をお迎えし、授業をお受けすることに努めた。今や我らの45分ごとに変化する一挙一動は、芸術と呼ぶにふさわしいまでに高められた。

(集団人間指定説チラホラ……?)
無論、真面目ということでは、他にひけを取らず、数週間続いた合唱練習・みんなな必死だった球技大会の練習など、どれもこれも、一応に励んできた。結果については……涙ノ……であるが、まあ、世の中一生懸命やってもだめなこともあるのさ、と、少しばかり哲学の勉強

をしたのだから、もう誰も気にしていない

これだけでは一年の時から少しも成長してないように思われるかもしれないが成ら40名は皆れっきとした思想家で、受験に反発を感じた者もいれば、自然を愛せと絶叫した者もいる。総量2の我らは、先生の愛の手にひかれ、三年の年月をかけ、ようやくここまで成長し、どうやら卒業にたどりつくことができたのだ。

成田努君わるいねロンだよ!! 役萬貫さノ
「三万六千点」
浅木照浩
みなさんいすか? ケ〇〇はアザ人間だよ
浅羽 浩
もつと牛乳のもうよ、函館牛乳。
板谷 隆

あすにしあわせを?

悲しみのない自由な空へ翼をなびかせ行きたい!!
白井理浩
中学校の刑は、ワンマンショーにあり卒業式を楽しみに
笠井紀宏
皆の衆、察には、気をつけろノ

加須屋清文

「30になったら、私死にます。」草葺閣下のままで!!
龜谷千代仁
今日までに、言葉にみつきりませんノ
川浪英己

「私は、元、旧帝国陸軍憲兵隊ナリ。」
齊藤 満

みなさん、アザ人間と不能者に気をつけよ。?
佐々木洋

「シ〇〇〇をコロセノ大尉殿ノ皆様イスカ?」
笹谷友司

人は、パンのみで生きるのではない。
佐藤建治

マジヤンは、リーチのみではあがれない。
佐藤正樹

「逃げ!!」逃亡者こと函館のもや吸い人間前科三犯
塩野谷正幸

四年前の夢をもう一度、君の手でつかんでよ。
土橋真二

われ応仁の乱に死す、故竹島左衛門之影時
竹島俊之

人は、わずか十数枚の紙切れで一生を保障されない。
浜田 徹

「ワハハ、明智君ノ黄金バットは死なぬではさようなら」
波岸孝徳

みなさんおせわになりました。
成田 聡

不滅です。
成田 聡

浅木君わるいねロンだよノ マンション
成田 努
底のないコップには水は入らない。
柳谷 隆

級 学 業 卒

別れは、涙ではなく笑顔で――

佐藤順子

輝やかしき明日に向ってノ

石岡智花

夕焼けは羊飼の喜び、想い出は私の喜び

川辺公仁子

私のラッキーナンバー3をお忘れなくノ

小林利恵

私、バカよねノおバカさんよねノ

佐藤久美子

希望・夢を忘れず、未来に向かって進もう!!

三箇かおり

太い足の女の子は強い母になれるって私

高木真弓

つてなれそう!!

いつも笑顔を忘れずにノいつかはきつと

田中優子

しあわせが……

やさしさを忘れない女の子でいたいです

谷口佳代子

ね……!!

会うは別れのはじめ。

田端香織

明日の青空に向って青春キックオフノ

中田芳野

卒業?それは何だ。百科事典でしらべて

みよう!!

みんながいろいろ書いたけど、私だけはおわすれなく!!

この三年間ついに美人な友達ができたの

……ネット園長!!

卒業とは、第二の青春のスタート地点。

松岡悦子

三宅智江

君といつか行った映画がまたくるかな?

吉田智子

ねっK。

コスモス(乙女の真心……)でも私まだヒ

ナギク(無邪気)かな!!イモ

みなさ〜んこの美しい秋田美女?を忘れ

ずにノ

米倉洋子

佐々木真琴



級 学 業 卒

三年間それは、永遠に消えることない思
い出

しょうないひろこパーシーザイイ!!礼、
ピタン(よゝこにつづく)

サアー 君達もガンバロー ワレメチャ
ン ジャック!!

庄内弘子
GEORGE HARRISON、パン
ザイ!!散れ、ベタン(たいこにつづく)

充実したものを愛する 壮雨の心です

鈴木容子

吉野昌亮

美しい十代を大切に、

ハイカラさんへ一言ノ少尉とHAPPY
ENDになるよーに

初貝典子

夢をもとう、でっかい夢をノ

今野昭子

五稜高校、どうしてないの?
比企ゆかり

かたやまたいこパンザイノ起立、8ブ
タン(いずみにつづく)

小川誠子

未来へ向かって飛びたとうノ
増田淑子

入試とは失望に満ちた青春の墓場である
(遠屋吉良名言集より)

片山泰子

自分に勝つことは勝利のうちの最大のも
のと、最後に言っておこうと...?
増田好美

我が友よ、一寸光陰不可軽"なあって、
ガラじゃないノ?

岸田茂子

私アランドロンもジュリーもあきらめる
から、寛平、恋人になつて!!ダメ?
松井千晶

さいとういずみ、パンザイイ!!休め、
ポタン(のぶこにつづく)

国塚牧子

青春の一日一日を大切に
宮川晴代

さとうのぶこ、パンザイッ!!
パタン(しょうじょうにつづく)

斉藤 泉

愛するに恋の破れは春來たる、ンノ?こ
れどういう意味?
宮崎恭子

きおつけ

きおつけ

15年一生懸命生きて来たんだなあノ
宮本治美

佐藤陽子

佐藤陽子

ああ一遍、あの方に言つてやりたかつた
ことば...、死刑だ"ムムノ

15才の別れ、屋根の上にはなごり雪
ン?

佐藤まき子

心にきめ石、わが道を行く
桃井 忍

佐藤まき子

佐藤まき子

加藤志津恵

* *





プロフィール

時の流れなんぞ、なかなか速いものでもう二年の月日がたとうとし、私達は今ひとつのSTEPをおえてそれぞれの道に飛び立とうとしています。この二年間ふり返つてみて、2年B組、3年C組と毛間内先生(通称、ケマジ、ケマさんなどみんな好き勝手によんでるけど)と共ばやって来て、今思えばなつかしいことばかりです。ここでその輝やかき生活の記録を御紹介いたしましょう。まず、自習時間、何故かみなさん、いつもと眼の輝きが違つて、自分の個性を思う存分發揮しております。卓球大会、トランプ大会、「正やん、久保やん、かずみさんヒデキ、ヒロミ……ステキ」3Cの太陽やソバ屋の娘など、もうすごいんだから。次は、クラス対抗の試合、球技大会は、勝つ人男子、負ける人女子となつていて、女子は決つて、努力はおしまないのですけど、みんな人の良い人達ばかりで、他人を負かすことができないのです。やさしすぎて……?。それから、合唱コンクール、これは2年連続入賞で、みんな練習の時は、声ださなくせして本番になると、指揮者、伴奏者、みんな一体になつて賞をかつさらつてしまふ

のです。「能あるタカは爪かくす」まさに3Cのためにある言葉みたい??。水泳大会は…….。なんというか、そーなんです(と)ケマさん、毛間内先生なのですけ、よくこの二年間、こんな私達と、いっしょにやって来て下さつたと思います。高校生のお子様もいらつしやるお歳で、こんなワンバクな生徒を持つて……。あの先生のジャージ姿はステキでしたヨ、なんとも言えないふんいきを持つていらつして下さいました。最後に、変態の多かつた我クラス、まぶしく花つてる人から横綱やトリガラまでいる我クラス。今、思えば、けつこう良いクラスでした。今、

* * *

一足一足歩いて人は遠くへ行く
太田雪広
金子朗
夢多き者達よ、真実をもとめてつき進め!
小林孝司
一つ一つ確かな自分の城を築きあげていこう。
今野恵雄
ガッツで進め!
齊藤祐一
長いようで短い義務教育時代さようなら
進藤克己
一日一善
住吉秋雄
武田健次
精神一到何事、成らざらん
目標に向かつてに突つ走れ!
田中 浩
サヨナラだけが人生さ
あんたあの娘のなんなのさ
田村勝弘
長い3年間でした。では、サラバじゃ
鶴喰良信
二人だけのメモリーどこかでもう一度
by HAPPY END...
中村明文
自分を大切にしよう。
中村秀一
出会ひの後は別れが…….悲しみの後には喜びが…….
長嶋 薫
いつか僕のポケットにあつたあの小さな夢がいつの日か実現する日を夢みて……ナ

なるがままに”
I have nothing to
「明日の風」を期待すると失敗しちゃう
阿部周二
荒谷尚利
池田憲昭

級 学 業 卒

ンチャッテ!!
十代も「希望」のある人生にしよう!!

松野智浩

地球のみなさんGOOD BY M 28号
星へかえります。

未知:

吉村健太郎

ラ・サールに行ってもがんばろう!

中村牧子

サヨウナラ

秋田ひとみ

★一日は30時間にするべきです。

平野玲子

愛する友と真珠の涙をこらえて
さらば

栗沢清美

めぐる暦は季節の中で深いながらすぎていく

船木るみ

いつまでも、やさしいあなたでいて下さい

飯田玲子

私たちはもう卒業だ。がんばらなくちゃ

水沢珠江

別れと出合いのくり返し、そして時は過ぎゆく

北山美代子

私は今、コバルトブルーのあなたを待つのです。(ちよっとときどかなー)

三戸富士子

あの頃にかえりたい

紀国 香

また、一つの思い出を残して……

宮崎淳子

3年間の思い出をもって、今、私は旅にでるのです。そしてあなたのところへ夢をもっていくのです。

工藤美佳

吉村茂子

有斗にいつてもガンバロウ!!

ネノ平野

さんノ

小嶋まゆみ

ちっばけな人生の大きな思い出。

進藤操子

今、ひとつの大きな扉をあけな未熟な私たち

住吉則子

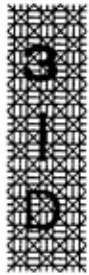
卒業する年になってしまいました。卒業します。サヨウナラ

千葉由美

忍ふ不忍無縁坂 かなしめる様なささやかな私の人生

徳永敦子





3・Dにとつて、一番恐ろしいことは英語の時間である。全員が、あてられたら困ると思い、必死になって、テーパーコーダーを聞くのである。先生と目があうと、我々生徒は、「わっ、あてられるぞ。」と感じられるが、実体はそうではなく、全然ちがう人をあてるのである。また、ずっとにらむくせもある。それが、わが担任猪狩一則先生の特徴である。

3年になつての最大のニュースは、なんととっても、文化祭の合唱コンクールで最優秀賞に輝いたことである。なぜ最優秀賞に選ばれたかそれは、チャキになつて練習したからである。球技大会や水泳大会でも、男子がみごと一位を獲得した。女子も、球技大会で二位をとつたのだ。では次に、一言ショーに移ろう。



義務教育は終わったけれども、これからも頑張ろうノ

I先生、別れは別になごり惜しくはない

どうして、これを書くのだろうか!!

男よ、男は3つで勝負をかける

誰も生涯を予測することはできない

あーねむい!! 高校に入つてから考えよう

立てはバチンコすわれば麻雀歩く姿は馬券買い

狂つていてもいい。健康であれノなつノ

3・DのM君 RESRECTIONして、TITANになれ

HELLO GOODBYE、

3D監・Mさん、ふとりぎみを、どう解消するかノ

FOR BEAUTIFUL HUMAN LIFEノカネボウです。

赤崎 修一

浅井 善夫

太田 秋広

木村 繁美

小泉 修

坂本 直浩

白沢 仁

鈴木 紹広

千石 敬

高田 悟

高村 恭幸

長川 誠司

皆さん、健康のため吸いすぎに注意しましょう!!
一言.....さあ.....ノ
仁科 秀則

ああ私悲しいわ、だつて変態と猿とお別れだもの
梶田 雄二

後輩の諸君ノ太く大きくたくましく育て
播磨 龍雄

!!
こんなの読むのはやめてお遊びしまし
藤田 達雄

う。
藤本 春美

ああ、これで卒業、ハイ サヨナラ
森 茂樹



諸君、膨張率30センチ以上に挑戦しよう

森田 誠一

ACROSS THE UNIVERSE
横沢 英三

吉開 猛

級 学 業 卒

五郎サンノ 私との結婚式はいつ?

石川 由美

太い足の女の子って強い母になれるって

あゝ実感ノ

誕クン、明日、麻布のマンションに行き

ますネ!!

岩崎 文恵

青春の階段はまだ続く、今は一息ついて

いるだけ。

及川 みち

エト一君!! 恋の夜行列車”であなたの

もとへ……

緒方 文子

もうすぐ春。3年間どうもありがとう。

ねっ……ノ

釜田 里香

ジョージノ私達6月20日に婚姻届を出し

ましようよ。

工藤 珠美

春の野原の菜の花をあなたにつんであげ

たいの拓郎ノ

小谷 望

I'LL FOLLOW THE SUN

斉藤ひとみ

春のあたたかな こもれ陽の中 あー

今が青春ノ

佐藤 昭子

マイペースで

佐藤 恭子

NO ROSE WITHOUT A

THORN

柴田由理子

ただよう波のさながらに終わることなし

しわが青春ノ

砂尾 弘子

SUCH A LONG WAY TO

GO

砂留 秀子

あたしの辞書には、遊びの言葉しかのっ

ていないのノ

田嶋 雅子

George George George
George 倭 晶子

ずっと、夢の世界にひたっていたいの

です。

早く春が来てほしい、淋しがりやのあの

人のため……

舛森由紀子

昏に歌を、心に太陽を、一日を大切にノ

加藤 美紀



3ねん Eくみ 42めいダヨ

別れはいつもつらいけど 時計の針はとまらない
今 みんなと別れるけれど かわらぬままで 出逢えるさ
だから

君が泣くのは今じゃない 涙は明日に 明日に……

今、こうしていると、3E ってのはどんなクラスなのかって思うんだ。

2D 時代から、なんのとりえもなく、ちっとも変わりもしないで、授業時間はひたすらねてくらし、給食で日頃の飢えを克服して、休み時間になると最高にうるさくなってトランプばかりやって勉強なんぞ無関心を通りこしてきれいに忘れ去っちゃって、担任の八反田教諭をあきれさせている。

でも、大して異常なやつはいない。(ン、お前がそうだって？それをいったらおわりだよ) 顔は動物園さながらだけど、どのクラスも同じだろ。それに、みんないいやつばかりなんだ。先生もすばらしい(?)し。ホント、いいクラスだよ。

3E 41名。一番仲が良くてすばらしいやつら。進む道は違うけれど、悔いのない青春をエンジョイしようよ!!

新しいものを、つかんでみたい いやなもの みんな脱ぎ捨てて
歩き始めよう 自分の足で どこまでも どこまでも



この3年間、楽しい生活だったノ

“勇者にあらざれば美女を得ず” ってホント?

我ら青春ノやってやれないことはない!!

バイバイ!!

Good - by

中学時代はもうこない。高校時代ヘレッツゴー!!

真剣の前に、不可能という文字はない

下落合本舗がいつもめざしているものは=完璧=

……無……

卒業までに、借りた金は返せ!! それだけ

=忍耐=…です

Now let my blue bird fly !!

みんなでがんばろう ピンポンパン!!

浅井 武浩

石後岡正弘

稲生 憲昭

菊地 誠

久保田 敦

小西 正幸

小林 正友

佐藤 元紀

鈴木 秀樹

高橋 欣也

高橋 生直

高村 真

田原 一夫

卒業学級

日水のちくわ、生がいちばんノ（本谷へつづく）橋の下レストラン

義務教育よノさらばじゃ!!

奇跡は最善の努力である

みじかかった3年間ノ

空のように青く、海のように広い心を持とう!!

日水のかんづめくったら、山村みたくなると!!（山村につづく）

日水のハム・ソーセージで行ってみよう（敦にもどる）

ああ、おそろしき!!仁候なきたたきあい

悔いが残った3年間、牛乳飲んで、元気をだそう!!

私たちの、希望に向かう可能性は、無限なのだノム

皆さんノ大いに遊んで、悔いのない青春を!!

一にも二にも努力をおこたるノ結果は三の次!!

3年間は私にとって、生涯良き思い出となるでしょう

後悔するより反省する気持ちを大切にしたいのです

意地と根性でがんばった三年間なのだノムフフ!!

五稜中学校さんノお世話になりました!!

別れこそ、出会いのはじまり……………

友情の和を大切にノ

クレオパトラか楊貴妃か。私ってなんて美しいのでしょうか？

愛されることよりも、愛することを大切に!!

古きをたずねても、古きしかわからないのです

未来の異才より愛をこめて…グットラック

一粒の涙から幸せを……

今、春が来て君はきれいになったけど…

忍耐はすべての扉を開くノのデス

'76の大スクープ!! 私がだいたいレンジャーだ!!

重大発表ですノ実は私はポール；Mの妹なのです

転校生って、おもしろいですね。

田原 敦

中村 友治

信田 浩

林 征仁

三浦 浩昭

本谷 博幸

山村 英孝

吉村 純一

和田 禎

伊藤 奈美

大科万里子

奥山 裕美

斉藤久美子

佐藤テル子

下田 裕子

杉山美紀子

鈴木 敦子

鈴木 文乃

敦沢千草

外崎 ゆみ

長谷川裕美

長谷川 恵

番重 美樹

日角 亮子

藤本 欽子

松岡 浩美

村上 利香

前田 鶴美

思い出の授業 教科の先生と生徒とのある日



泉 先生



佐々木先生



猪狩先生



毛間内先生



深栖先生



八反田先生



村田先生



本堂先生

昭和五十年年度

学校日誌から

四・七	始業式	七・八	P T A 生活部会	昭和五十一年
	新任式(鹿角・平向先生)	七・九	知能検査(三年)	一・一九 始業式
	入学式・P T A 入会式		五稜通信発行	一・二三 卒業記念写真撮影
四・八	生徒会対面式	七・一〇	全市生徒会協議会	二・三 中体連スキー大会
四・一四	検診開始	七・一七	父母会	二・四 冬の遠足(二年 大沼)
四・一九	P T A 総会	七・一九	映画教室	三・一二 卒業生を送る会
四・二二	学級委員任命式	七・二二	交通安全教室	三・一五 第十三回卒業式
四・二五	一年標準学力検査	七・二三	中体連八種競技開始	三・二四 修了式
五・六	家庭訪問週間	七・二六	終業式	
五・八	母の会総会	七・二八	水泳教室開始	
五・一四	修学旅行出発(五・一七帰着)	八・二二	始業式	
五・一九	遠足(一・二年)	八・二八	校内水泳大会	
五・二二	一年授業参観	九・三	中体連水泳大会	
六・三	第十五回 体育大会	九・九	秋の遠足(一年 仁山)	
六・一六	一年知能検査	九・二六	二、三年 大沼)	
六・一七	中体連陸上競技大会	一〇・一五	校内球技大会	
六・二〇	心理テスト	一〇・二七	文化祭(一・一六)	
六・二二	生徒総会	一一・一	後期学級委員任命式	
七・七	道徳性検査	一二・一七	生徒会役員任命式	
		一二・二四	父母会(一・一八)	
		*	終業式	
		*		



美術

＊全市小中学校美術展

- 優秀賞 一年・小芝裕文・二年・本田 勝・大久保和章

●入選

- 一年・工藤 亮・屋代 茂・石塚智二・渋谷賢悦・二年・藤森悟志・堀井郁子・足立 満

＊函館の街を縁にする会ポスター展

- 佳作賞 一年・平田新次郎

●入選 榎 裕二

＊函館児童面コンクール

- 金賞 二年・荒井紀行
- 銀賞 二年・坂美智子

●銅賞

- 一年・小石昭洋・二年・森 瑞恵

●佳作賞

- 三年・三浦かおり・二年・蒲生 明宏・佐藤洋美・千葉敏昭・熊谷 司・広川淳一・和田暢治・福田いづみ・大久保和章・一年・王野優花・志村園美・信濃義美・松本浩司・小芝裕文

＊父の日・母の記念詩・感想文公募

―読書―

- 入選 二年 加賀多佳子
- 佳作 一年 石橋 直子

二年 福田いづみ

(図書館第一分館)

―体操―

- 団体男子五位 女子三位
- 個人総合二位 三年 宮崎淳子

＊読書感想文公募(図書館第一分館)

- 入選 二年 朝鍋まり枝
- 佳作 三年 佐藤テル子

＊中学生作文コンクール(毎日新聞社)

- 函館市長賞 一年 池田 道子
- 優秀賞 三年 佐伯 裕之

―発明工夫・理科―

●努力賞「雨降り警報器」

- 二年 太田 学
- 二年 岩船 誠司



―野球―

―水泳―

- 総合第二位(男子の部)
- 個人 一〇〇m 平 泳
- 一位 三年 武田 健二
- 一〇〇m 背 泳
- 一位 三年 亀谷千代仁
- 二〇〇m 背 泳
- 一位 三年 亀谷千代仁
- 一〇〇m バタフライ
- 一位 三年 田原 一夫
- 四〇〇m メドレー
- 一位 三年 亀谷・武田 田原・千石

種目別平均台二位 三年 宮崎淳子

鉄棒二位 三年 宮崎淳子

跳箱二位 三年 宮崎淳子

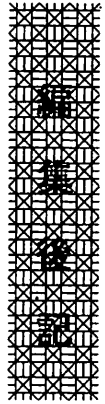
タンプリング二位 二年 笠置辰也

(以上……主なもののみ記載)

金沢 浩
 小林 一美
 猪狩 一則
 泉 良子
 井上 貞興
 大平 元昭
 鹿角 令夫
 川原エイ子
 毛間内茂二
 小西 孝男
 斉藤美都子
 酒田 文雄
 佐々木雄幸
 島貫 譲
 進士 継昭
 田堰 早苗
 館洞 光宏
 谷口 幸一
 田中 恒也
 永田 裕三
 永沼 三枝



春田むつえ
 八反田 稔
 林 俊一
 平向 貞重
 広沢 博正
 深橋 久佳
 本堂 潤悦
 門馬 常
 村田 倅子
 米田 忠夫
 高橋 市雄
 杉浦ミヤ子
 柳沢 美代
 高田 広栄
 木村 照江
 沢村佐次郎
 藤井 光雄
 伊藤 邦子
 早崎 石子



吉田

いつもおそくまで残って、編集した生徒会誌「五稜」この一年間の思い出がびっしりつまっている。五稜中だけのオリジナルです。この仕事をしているときも、どんな本ができるのかととても楽しみでした。生徒全員が卒業してもおとなになってもいつまでも大切にとっておいてほしいものです。

加賀

本を作るといことは本当に難しいんだなあと感じました。一年間の思い出として、この本を大切にしましょう。ねえ、みなさん!!

岸本

人がやりたくてもできないことを経験したと思うと満足。あとは、自分たちが書いた文字を、印刷屋さんがちゃんと読めるかどうか。

増田

最後の仕事も終り、協力して下さったみなさんありがとうございました。思い出の機関誌です大切にして下さいね!

岸田

みなさんがつくった本です。最後までよんで大切にして下さい。

中村

一生懸命作ったのだから、さやんと最後まで読みましょう。

向井

ともかく書記として満足な仕事をできなかったというよりもしなかったというのが本当のところですね。そのかわりといってはなんです。おもしろおかしく、やらせていただきました。また来年に……

清水

仕事をやってみてまず第一に言いたいことは「大変手がつかれる仕事だ。」ということ。これから

熊谷

佐伯
石後岡

このような仕事があるのなら、今から手をもんでおかなければならないのではないのでしょうか?
あまり積極的にやらなかったので、終ったという感じはでないが、終ってよかったです!

この本を編集するに色々と苦心した点もありましたけれど今、終って安心しました。今年も若干、写真のページも多くなり、色々と趣向を凝らしてみました。50年度をふり返るつもりで最後まで読んで下さい。

協力してくれたみんなに感謝の意をこめて

表紙製作者 3・D 舛森由紀子

指導 猪狩先生



	世の中で一番イヤなこと	今一番してみたいこと	もし先生にならなかつたら	趣味は	モーターは	愛読書は	尊敬する人は?	生まれるならどの国が良かったか	生きるなら何才まで生きたいか	将来の生活設計は	学生時代の勉強は	教育とは何だと思いか	五歳の生徒にどう思うか	五歳の生徒に今のぞむことは	今まで良かったか
小林 一美	真実が軽視されがちなこと	日本国中を旅行してみたい	旅行会社員	旅をして各地のうまいものを食べる	読 書	伝記もの	イエス、キリスト	南アメリカ	65才位で充分	静かなところでゆつくりしたい	数学が苦手な歴史が好きだった	一口にはむずかしい	は気に乏しい感じ(大罪にされすぎているのでは)	たくましくぞだつてほしい	より多量のこと
猪狩 一則	アンケートに答えること	宇宙旅行	レポーター	特になし	?	辞 典	たくさんいる	日本	70+x	永遠の青年に老後はない	ハツチキキになつてやらなければみんなついて行けなかつた	生きることを身につける	勉強以外で3Mが多い	健 康	死んでみる
泉 良子	怪我で入院すること	みんなと一緒にバスケットボールをしたい	看護婦さん	スポーツ	注意一秒ケガ生	ゲーテ詩集	両親	どこでも	何才でも	わからない	音楽が得意だった	?	?	強い意志	健康のじわつ
井上 貞興	悪 夢	乗馬、ジェット機操縦	医者(脳神経科医)	日曜大工(修理OK)	短い生ゆつくり生きよう。中味で勝負	聖書(特にロマ書)ゲーテの著作	内村 鑑三 シュバイツァー	だんぜんNIPPON水、たべもの世界一	あと60年(83才だね)	まだ60年も先のことから世界をあつといわせる作家	数学、ドイツ語が楽しかった	人間と人間との出会い	もつともつ人間同志のあたたか味をもつて皆仲良しになつて	けんかしたら負けぬくらいにたくましさ>>くたのもしさ>	世界中きたこと
大平 元昭	自分の地位を利用していろいろをすたり、むねを得るにうらやまする人がいること	ヨーロッパへスキ-旅行	公務員	囲碁、スキー	正直に生きること	歴史小説	特定な人はいない	日本でよかつたと思う	70才	特になし	あまりした段りではない	生きて働く力を身につけること	平和的な中学生	ねばり強く積極的にとりくむ生徒	はじめに登つたりおり
鹿角 令夫	時間をそまつにすること	ヨーロッパでスキ-をしたい	画 家	スポーツ	フアイト	プレイボーイ	先賢(自分より先に生まれた人)	どこでもいい	わからない	わからない	復習だけ2時間	むずかしすぎる	フアイトがない	最後の5分間を大切に	かあちこと
川原 エイ子	無責任な行動	太平洋横断	小説家(夢)	レコード鑑賞	読 書	松田解子「おらん口伝」	母	日本がいいわ	100才は無理でしょうか	先のことなのでまだまだ	勉強どこでなかつた	探索中	たくましさ欠ける	創造力を豊かに	むずかし「しあわせかみしど
手間内 茂二	信頼が裏切られた時	遠くへ旅に出ること	自分で会社を設立し社長にでも	機 械	誠実に生きること	肩のこらない諸歴史物	自分の両親	中華人民共和国	100才	死ぬまで生きて何か仕事をするつもり	頭が良くないので努力したのが収縮向上せず卒業	むずかしく言う生徒一人一人の人格完成ををめざす仕事	みんな良く勉強すると思いが根性ねばり強さがほしいと思う	勉強も生活態度も節度をもつて自制のできる生活へ	色々場合別にスに解
斉藤 美都子	血を流すことをなんとも思わないこと	うーん やりたいことが多くて・・・はたかりかな?	花栽培	?	健 康	?	?	日 本	五十年連れそつて夫婦というそりですから	花でも作つて楽しみたい	のんびり遊びましたので	自分のことだけでなく、他人のことも考えられる広い暖かいになれるように	骨が退化したのではないかしら	口だけでなく体で感じて欲しい	
酒田 文雄	品のないこと	?	?	囲碁	たのしく	只今、新平家物語を脱書中	特になし	?	?	なりゆきのまま	まあまあ	?	よい子だ	元気やれ	
佐々木 雄幸	戦 争	?	?	読書、さかな釣り	考えてみます	ノン・フィクション	大切な人の名は胸の中に	考えてもみなかつた	60才	まだまだ先のことなので(只今25才です)	がり勉にみえますか	永遠の課題です	流行にながされるな	自信をもつこと	
島 貫 壽	自分の責任をはたさない人間がふえていること	すばらしい「ラン」の花をさかせる夢!	そんなことがわかるか! 運命というものだ!	木をちよんぎつて、その枝からまた木をつくること	真剣に生き余裕を家族のために生かせ!	作家としては藤村古典は「花伝書」	愛妻・・・よくやってくれています	日本という国	そんなこと考えるだけではからしい	そんなことを考えてみたことがないほど若いんだ、私は	一日4時間くらいしかねむらなかつた、よくもつたの体が	生徒に権利と義務を教えること。そして実行させること	「15」を読むとわかる	鼻血を出すくらい、男なら一度はケンカをしてみろ女はやさしさを	11月生まれの激しい個性
進上 輝 昭	反対、反抗、反発、反撃、反駁されること	子供から大人まで、自然に自由に遊べる広場をつくりたい	放浪者になつて紳士放浪記を書いて直木賞をもらうことでしょうか	みること、聞くこと味ること、読むこと、食べること、なんでもやっています	遊べるだけ遊ぶこと	あるんでしょうか?	いうまでもなく「あの人」です	せこましくつて、すこぶかされることのない、裸で遊べる公園	21世紀まで	これからデザインします(デザインの条件が定まらないので)	中学二年のとき一生懸命勉強したという印象をもつている	「いかにテストの点数を上げるか」をめだした教育体系でしょう	この人達の楽しみつて何だろうと思う	自分と回りの人とでできるほんとうの楽しいことは何でしょう	一生懸命にいたい
館 洞 光 宏	「自分だけよければ」という考え	ヨーロッパ、とくにギリシャ、ローマに行きたい	電気技術者	映画、音楽をきく。文庫をか	誠実、感謝10分前主義	嘆息抄	シュバイツァー博士	やはり日本	死ぬまで	油絵や小説を書き、モーツァルトをきく	想像にまかせる	人を作る最も大切なもの	積極性に欠ける。自分の道は自分でひらけ	人の「いたみ」のわかる生徒になつてほしい	先生をええ先生
田中 恒也	本人が気がつかなくて他に迷惑をかけているのを、いりやうにやがて気づかぬやうな事	ヨーロッパでスキ-	パイロット	沢山あることはないこと	白珠の人に知らず知らずとしよし、我知られば知らずとしよし	沢山あつて書ききれない(それぞれの部分)		やはり日本 日本しか知らないから	目、耳、足腰がたつしやなら何才までで生きたい	まだ設計図なし	よく遊び、よく学び?	人間となることを自分で考えられる力を養うこと	受動的な生活でありすぎる感じ、もっと能動的、積極的な生活を望みたい	気力充実、自分考えるところと同じように他を考えると	卒業したといふ
水田 裕三	人間が人間を信用できなくなる	世界一周旅行	どこかの会社員で海外にいたいと思ひます	昔は音楽鑑賞でしたが今は車で遠出をすることかな	常に調笑で向上心を持つこと	特定のものはありません	言行一致の人	やはり日本ですね	自分のなすべき事を果したら何才でも良い	毎日の生活に追われてまだ考えてません、それにはまだまだ若いから	北極の真面目でした。今思えばもつと中のある人生の勉強もしなければ良かったと思ひます	生徒と先生、子供と親が生きていることについて真剣に考えたい努力することと思ひます	もつと自分を大切にしようとする努力をしてみたい	明日はもうようなくし	
春田 むつえ	あまり多いので?	時間ては花をみて、その時に自分でやりたいことを自由にやりたい	農家の主婦であつたらうと思ひます	なし	ふりがえらな	山本周五郎のかいたもの	特別なし	日本(どの国にも行つたことがないので)	せいぜい70才位	まだわからない	あまりしれ記憶がない	いろんなことを吸収する	りつばすぎると思ひ	無邪気さがほしい?	思つた
八反田 聡	それはもう何と言つたつてアンケートに答えること	ブツブツと、チミ、アンケートをブツブツとこ	花洋たる天地にてヒジカタをしているであろう	無芸、大食	己に売つて人に受くべし、チミ、マジメなナン	吾 何時の頃よりか自毒書に通ずと思ひなして・・・いと恥かし	派の真砂の数より多くされど未だかならず	イカの塩辛に熱いお茶かけてあーア日本人に生まれて良かったナア	お前自造わしやロリまで一つの余韻をこの奥味しきことよな	わしやー浄土真宗の信者じやでのう	先づはエイキを覚えて・・・に始せり、よって言いたし血の腫るは後年の戒	人間開発だ	いざというときのバリキに欠ける	丈夫で長持ちバリキでハツスル	ありそウツフ
林 俊 夫	人間関係がうまくいかないとき	宇宙旅行	短脚のファンヨンモデル	歩くこと	死ぬまで生きること	聖 書	釈 迦	内マモア	100才	バラの花園でくらすこと	戦争どつこ	人間らしく育てること	甘つたれでもやしの感じ	もつと真剣にやれ	腹一杯
平向 貞重	今もどこかで続く戦争やあら	旅行(目的のある)	わからない(職業をえらぶむずかしさを知つてほしい)	自然に接すること	感 謝	書くのがおかしのでやめま	いるのですがキザになりますのでやめま	やはり日本	むずかしいけど、もううけてまでは生きたくない	人生のたそがれ時というものをじっくり味わつてみたい	若いうちの数学は本当に大切だ。私はもつと数学の力を活かすべきだった	その人にあつた自信をつけさせること	話しをよく聞いてほしい	学級内でも自分の仕事を一生懸命にしている	自分の五だん物事(この年)
深柄 久佳	相互信頼のないこと	とくにない	サテ、わからない	ありそり、なし	いそがしい世の中つめてゆつくりいこう	?	努力する人	日本でいいよ	あまり欲がないネ	いつまでも若くいたい	うん、よくやつた借して	長つづきすること	少し甘えん坊かな?	もつと汗を流せ	毎日食したと
本堂 潤 悦	喪喪のある音動	目あてをきめない旅行	ルンペン	釣りと囲碁	やりながら直せ	自由と規律(池田 潔)	皆死んでしまつた(惜しい)	月光仮面のいる国	死ぬまで	全く考えていない	一夜讀でテストにのぞんだ	心が通じ合うことがまじう	近道しようとして損をしている	情けは人のためならず	我子に
村田 倅子	八に迷惑をかける事件がつきつきにおこること	旅行	やはり公務員か会社員でしょう	コーヒを飲みながら本をよむ	明るくたのしく	最近では伊藤整の「犯濫」	苦勞しながら初志を貫いた人	日 本	60才まで	実感がない	山をかけたりかけられたり	心と心の結びつき	自分に甘い生徒が多い	ごまかさ(自分も他人も)	なつかあつた
米田 忠 夫	特になし	スキーをはじめから3年、はやくスターしたい	技術関係	スキーと山菜とり	努 力	特になし	なし	日 本	他の人に迷惑をかけない時まで	好きなこととして、生きたい	不十分	人間をみがきあげること	平和的である	すべてに自分の目標をもつて取り組んでほしい	特にな
永沼 三 枝	食量不足	スキーでころびたい	かわいなおよめさん	ポケットしていること	フアイト	畑 辰雄「風立ちぬ」	もちろん両親	もちろん日本(自分はやまとなでしこだから)	死ぬまで(一生懸命)	今はものすごく若いので考えていない	体育の先生になるため運動、運動、運動!	生きる方法を知らせること	礼儀(古いのかー)	健全であれ	おいしつばい、らんこ、